

令和 5 年度
第 2 回 鶴見区民アンケート
報告書

大阪市鶴見区役所

目次

アンケート概要	1
ご回答いただいた方の基本事項について	2
調査結果の見方	5
1. 情報の入手について	7
問 1 鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」を、毎月 1 ～ 5 日の間で、年 12 回各ご家庭・区内事業所に全戸配布しています。あなたは「広報つるみ」を読んでいますか。	7
問 2 あなたは、鶴見区が実施している広報（「広報つるみ」、区ホームページ、SNS、区広報板など）で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。	8
問 3 あなたは、鶴見区が発信する「広報つるみ」や区ホームページ、SNS、区広報板を見て、区政（事業等の内容、イベントやお知らせ）について関心が高まりましたか。	10
問 4 あなたは、情報を入手する手段として、どのような媒体（新聞、インターネットサイト、SNS 等）をよく利用していますか。	11
2. 健康管理について	12
問 5 あなたは、運動や食生活など、健康に関する取り組みを行っていますか。	12
問 6 あなたは、健康増進のためにどのようなことを知りたいですか。	14
3. 在宅医療や介護サービスについて	15
問 7 あなたは、医療と介護の両方を必要とする状態となった場合、住み慣れた地域で暮らすため、どのような情報が必要だと思いますか。	15
4. 「人生会議」について	17
問 8 あなたは、「人生会議」を知っていますか。	17
問 9 あなたは、今後「人生会議」について、家族や友人、医療・介護従事者と話し合ってみたい	

ですか？	18
問 10 （問 9 で「 2 話し合うつもりはない」「 3 わからない」と回答された方へ その理由は何ですか？	19
5. 地震・風水害等の災害について	20
問 11 あなたは、浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった時に、ご自分（家族）の災害時避難所がどこにあるか知っていますか。	20
問 12 あなたは、災害が発生した場合、自宅での居住の継続ができる場合は在宅避難が推奨されることについて知っていますか。	21
問 13 あなたは、備蓄などいざという時に備えていますか。	22
問 14 あなたが、災害発生時心配なことは何ですか。	24
問 15 鶴見区では、小学校区単位で地域のさまざまな課題解決のため「地域活動協議会」が活動しており、地域防災力向上のため、学校や公園などで防災訓練を実施しています。あなたは、これまで鶴見区内で開催された防災訓練に参加したことがありますか。	25
問 16 （問 15 で「 2 参加したことがない」と回答された方へ） その理由は何ですか？	26
問 17 鶴見区では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。あなたが知っている防災事業を選んでください。	27
問 18 鶴見区では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区防災計画」（鶴見区ホームページに掲載）について作成しています。あなたは、「鶴見区防災計画」などの取り組みを知っていますか。	29
問 19 あなたは、鶴見区で実施している取り組み（区民の防災意識の向上や地域防災力の強化に向けた支援など）が、今後の災害に対する備えにつながっていると感じますか。	31
6. 安全で住みやすいまちづくりについて	32
問 20 鶴見区では、さまざまな防犯事業に取り組んでいます。あなたは、鶴見区が実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。	32
問 21 鶴見区では、地域・関係機関と連携して交通安全対策事業を行っています。あなたは、鶴見区が実施している交通安全対策事業が、区の交通マナー向上につながっていると感じますか。	34
問 22 あなたは、道路交通法の改正により、令和 5 年 4 月 1 日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されたことを知っていますか。	35
問 23 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。	36

7. 地域活動協議会（地活協）について	38
問 24 お住まいの地域には、地域におけるさまざまな課題を解決するため、「地域活動協議会（地活協）」が活動しています。あなたは、これまで地活協の行事（活動）に参加したことがありますか。.....	38
問 25 （問 24 で「2 参加したことがない」と回答された方へ） その理由は何ですか？	39
8. 鶴見区全般について	40
問 26 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。	40
調査票.....	43

アンケート概要

(1) 第2回区民アンケートの目的

区民の皆さまの多様なニーズを把握するとともに、区の施策や事業など、今後の区政運営の参考資料として活用することを目的として実施しました。

(2) 区民アンケートの実施状況

実施期間：令和5年12月6日（水）～12月22日（金）

実施方法：調査票を郵送し、同封の返信用封筒による回答又はインターネットによる回答により実施

対象者：無作為抽出した18歳以上の鶴見区民1,000名

回答者数：603名

宛先不明返戻分：2件

回答率：60.4%

(3) 報告書に関する留意点について

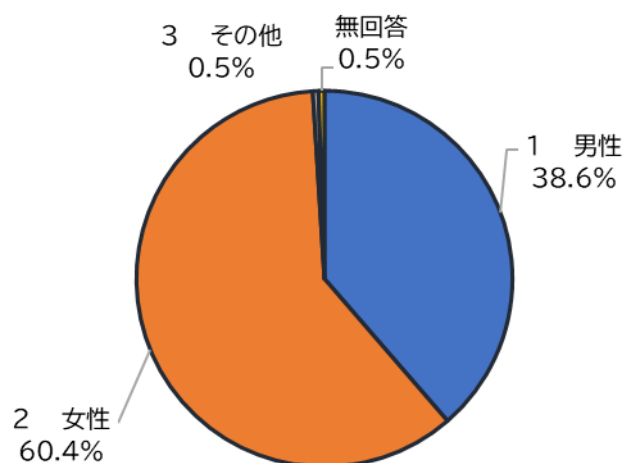
回答構成比（％）は、設問ごとの回答者数を100％として、各実数をもとに算出した数値の小数第2位を四捨五入しています。そのため、構成比の合計が100％と一致しない場合があります。

ご回答いただいた方の基本事項について

【性別】

男	233 名	38.6%
女	364 名	60.4%
その他・回答したくない	3 名	0.5%

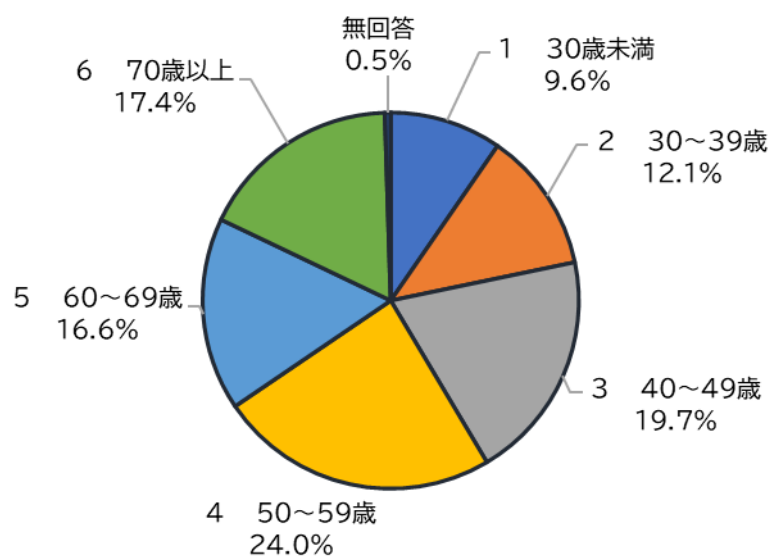
無回答	3 名	0.5%
合計	603 名	100%



【年齢】

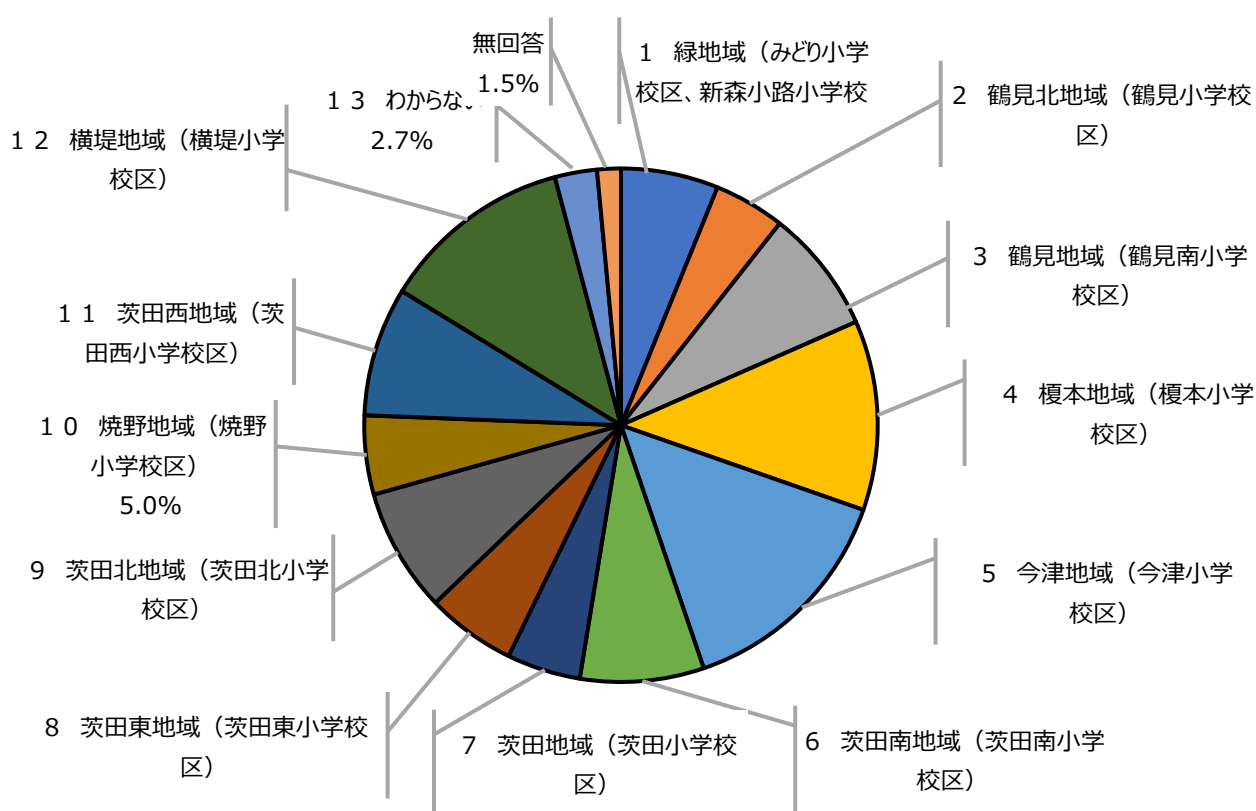
30 歳未満	58 名	9.6%
30～39 歳	73 名	12.1%
40～49 歳	119 名	19.7%
50～59 歳	145 名	24.0%

60～69 歳	100 名	16.6%
70 歳以上	105 名	17.4%
無回答	3 名	0.5%
合計	603 名	100%



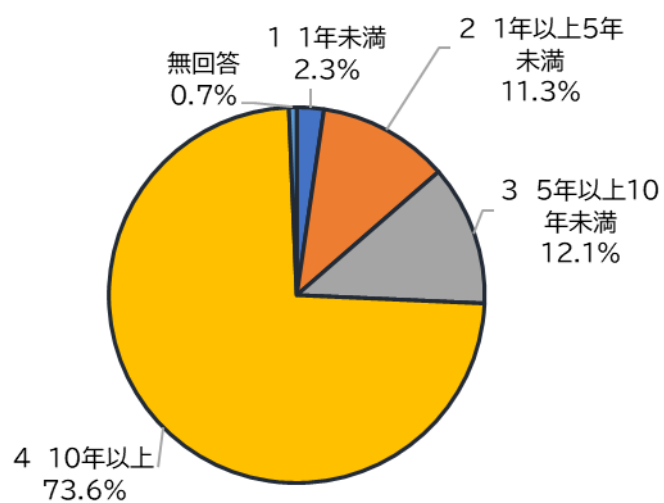
【地域】

緑地域（みどり小学校区、新森小路小学校区）	37 名	6.1%
鶴見北地域（鶴見小学校区）	27 名	4.5%
鶴見地域（鶴見南小学校区）	47 名	7.8%
榎本地域（榎本小学校区）	72 名	11.9%
今津地域（今津小学校区）	87 名	14.4%
茨田南地域（茨田南小学校区）	47 名	7.8%
茨田地域（茨田小学校区）	28 名	4.6%
茨田東地域（茨田東小学校区）	34 名	5.6%
茨田北地域（茨田北小学校区）	47 名	7.8%
焼野地域（焼野小学校区）	30 名	5.0%
茨田西地域（茨田西小学校区）	49 名	8.1%
横堤地域（横堤小学校区）	73 名	12.1%
わからない	16 名	2.7%
無回答	9 名	1.5%
合計	603 名	100%



【居住年数】

1 年未満	14 名	2.3%
1 年以上 5 年未満	68 名	11.3%
5 年以上 10 年未満	73 名	12.1%
10 年以上	444 名	73.6%
無回答	4 名	0.7%
合計	603 名	100%



調査結果の見方

- ・回答結果の割合「%」は、小数点以下第 2 位を四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ形式）の場合、回答は選択肢の有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100%を超える場合があります。
- ・図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・割合に関する記述で「割」は 10%を指します（例：3 割＝30%）

■ 標本誤差について

標本調査とは、標本による測定値（調査の結果）に基づいて、母集団値を推定するものです。

今回の調査は標本調査として実施しています。しかし、今回の調査結果は母集団値を推定するために必要な標本の代表性の検証が十分に行えていないため、標本誤差以外に大きな非標本誤差が発生している可能性が高く、本調査の結果を母比率の推定値として用いる場合にはこの点に留意する必要があります。

理論的に求められる信頼度 95%で推定した場合の信頼区間 1/2 幅（標本誤差）は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{P \times (1-P)}{n}}$$

■ 性別・年代別 回答比率ごとの標本誤差

	回答比率(P) 回答者数 (n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
全体	603	1.7%	2.4%	2.9%	3.2%	3.5%	3.7%	3.8%	3.9%	4.0%	4.0%
男性	233	2.8%	3.9%	4.6%	5.1%	5.6%	5.9%	6.1%	6.3%	6.4%	6.4%
女性	364	2.2%	3.1%	3.7%	4.1%	4.4%	4.7%	4.9%	5.0%	5.1%	5.1%
その他	3	24.7%	33.9%	40.4%	45.3%	49.0%	51.9%	54.0%	55.4%	56.3%	56.6%
無回答	3	24.7%	33.9%	40.4%	45.3%	49.0%	51.9%	54.0%	55.4%	56.3%	56.6%
30歳未満	58	5.6%	7.7%	9.2%	10.3%	11.1%	11.8%	12.3%	12.6%	12.8%	12.9%
30～39歳	73	5.0%	6.9%	8.2%	9.2%	9.9%	10.5%	10.9%	11.2%	11.4%	11.5%
40～49歳	119	3.9%	5.4%	6.4%	7.2%	7.8%	8.2%	8.6%	8.8%	8.9%	9.0%
50～59歳	145	3.5%	4.9%	5.8%	6.5%	7.0%	7.5%	7.8%	8.0%	8.1%	8.1%
60～69歳	100	4.3%	5.9%	7.0%	7.8%	8.5%	9.0%	9.3%	9.6%	9.8%	9.8%
70歳以上	105	4.2%	5.7%	6.8%	7.7%	8.3%	8.8%	9.1%	9.4%	9.5%	9.6%

例えば問 20 の「あなたは、鶴見区が実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか」の結果を見ると、肯定的な意見（「感じる」+「どちらかといえば感じる」）は男性で 64.4%で、ここから導き出される標本誤差

の数値は、表にある最も近い値（65%）の「男性」の標本誤差の数値 6.1%です。

つまり母集団を対象にこの調査を行ったところ、「肯定的な意見」の男性が 64.4%の前後 6.1%の区間内、すなわち 58.3%-70.5%の区間内にあることが 95%の確率で期待されるということを意味しています。

■母集団の大きさ（N）（令和 5 年 9 月末時点の住民基本台帳人口）

（単位：人）	30 代以下	40～50 代	60 代以上	合計
男性	12840	16509	10330	39679
女性	13801	17120	12160	43081

■有効回答数（n）

（単位：人）	30 代以下	40～50 代	60 代以上	合計
男性	56	91	86	233
女性	74	171	119	364

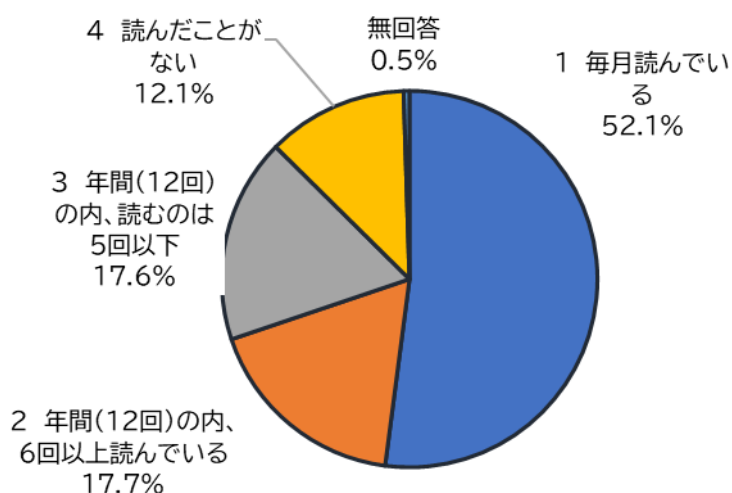
■有効回答者数の母集団の大きさに対する割合（n/N）

（単位：%）	30 代以下	40～50 代	60 代以上	合計
男性	0.44	0.55	0.83	0.59
女性	0.54	0.55	0.98	0.84

1. 情報の入手について

問 1 鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」を、毎月 1 ～ 5 日の間で、年 12 回各ご家庭・区内事業所に全戸配布しています。あなたは「広報つるみ」を読んでいますか。（1 つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 毎月読んでいる	314	52.1%
2 年間（12 回）の内、6 回以上読んでいる	107	17.7%
3 年間（12 回）の内、読むのは 5 回以下	106	17.6%
4 読んだことがない	73	12.1%
無回答	3	0.5%
合計	603	100.0%



【全体的傾向】 「毎月読んでいる」と回答した割合が最も多く、52.1%となっている。

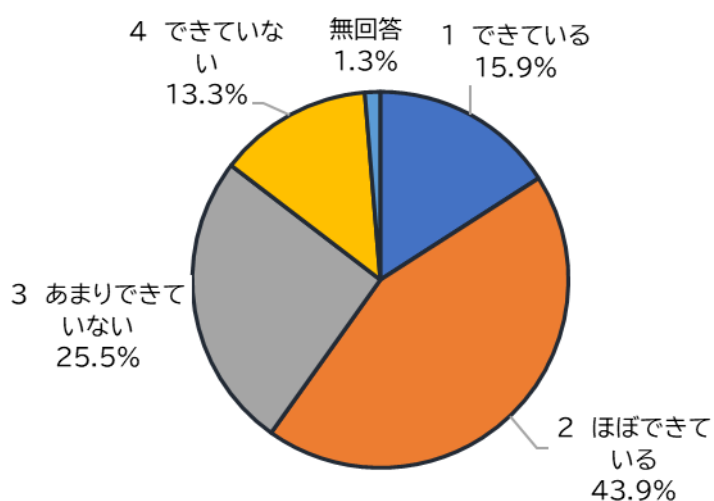
【年齢別傾向】 「30 歳未満」では「読んだことがない」と回答した割合が最も多く、39.7%となっており、その他の年代では「70 歳以上」が「毎月読んでいる」と回答した割合が最も多く、70.5%となっている。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「毎月読んでいる」が最も多く、なかでも「5 年以上 10 年未満」が最も多く、60.3%となっている。

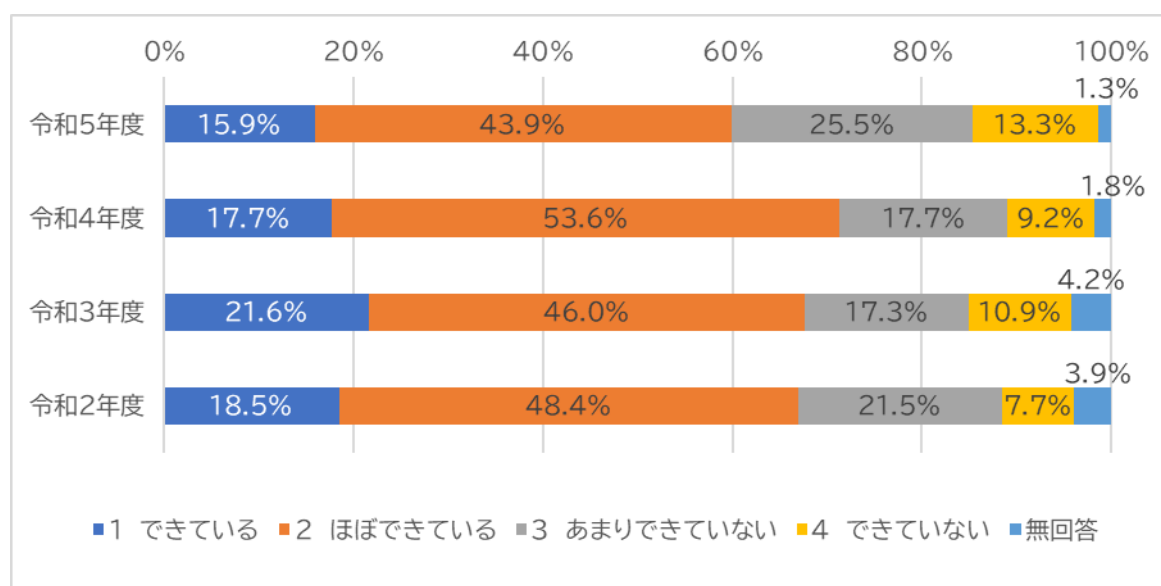
【地域別傾向】 すべての地域で「毎月読んでいる」と回答した割合が最も多く、なかでも「茨田東地域」が最も多く、70.6%となっている。

問2 あなたは、鶴見区が実施する広報（「広報つるみ」、区ホームページ、SNS、区広報板など）で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 できている	96	15.9%
2 ほぼできている	265	43.9%
3 あまりできていない	154	25.5%
4 できていない	80	13.3%
無回答	8	1.3%
合計	603	0.0%



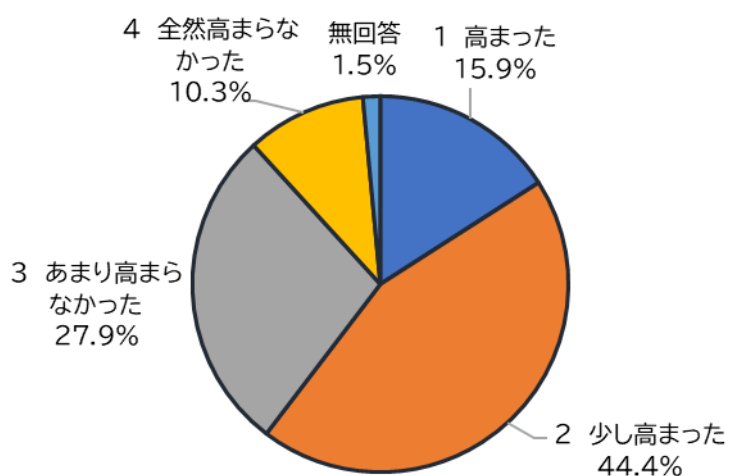
【前回等調査との比較】



- 【全体的傾向】 「できている」（15.9%）、「ほぼできている」（43.9%）を合わせると 59.8%の方が必要とする区政情報が必要なときに入手できていると肯定的に感じている。
- 【年齢別傾向】 「できている」又は「ほぼできている」と回答した割合を年齢別にみると、「30 歳代」が最も多く、64.4%となっている。最も少ないのは「30 歳未満」で 48.3%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「できている」又は「ほぼできている」と回答した割合を居住年数別にみると、「10 年以上」が最も多く、61.3%となっている。最も少ないのは「1 年未満」で 50.0%となっている。
- 【地域別傾向】 「できている」又は「ほぼできている」と回答した割合を地域別にみると、「茨田西地域」が最も多く、75.5%となっている。

問3 あなたは、鶴見区が発信する「広報つるみ」や区ホームページ、SNS、区広報板を見て、区政（事業等の内容、イベントやお知らせ）について関心が高まりましたか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 高まった	96	15.9%
2 少し高まった	268	44.4%
3 あまり高まらなかった	168	27.9%
4 全然高まらなかった	62	10.3%
無回答	9	1.5%
合計	603	100.0%



【全体的傾向】 「高まった」（15.9%）、「少し高まった」（44.4%）を合わせると60.3%の方が区役所からの情報発信を通して区政について関心が高まったと回答している。

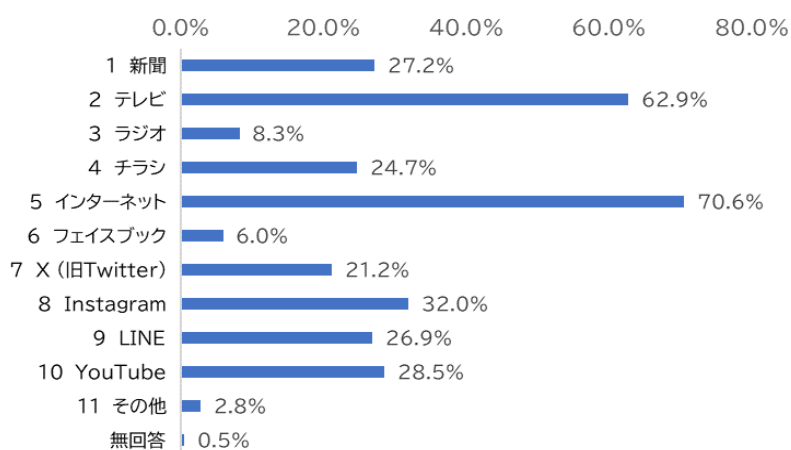
【年齢別傾向】 「高まった」又は「少し高まった」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳代」が最も多く、69.9%となっている。最も少ないのは「30歳未満」で39.7%となっている。

【居住年数別傾向】 「高まった」又は「少し高まった」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年未満」が最も多く、71.4%となっている。最も少ないのは「10年以上」で58.6%となっている。

【地域別傾向】 「高まった」又は「少し高まった」と回答した割合を地域別にみると、「茨田西地域」が最も多く、75.5%となっている。

問 4 あなたは、情報を入手する手段として、どのような媒体（新聞、インターネットサイト、SNS 等）をよく利用していますか。（いくつでも選んでください）

選択肢	件数	割合
1 新聞	164	27.2%
2 テレビ	379	62.9%
3 ラジオ	50	8.3%
4 チラシ	149	24.7%
5 インターネット	426	70.6%
6 フェイスブック	36	6.0%
7 X（旧 Twitter）	128	21.2%
8 Instagram	193	32.0%
9 LINE	162	26.9%
10 YouTube	172	28.5%
11 その他	17	2.8%
無回答	3	0.5%
合計	603	100.0%



【全体的傾向】 「インターネット」と回答した割合が 70.6%と最も多く、次いで「テレビ」が 62.9%、「Instagram」が 32.0%などとなっている。

【年齢別傾向】 「60 歳代未満」では「インターネット」と回答した割合が最も多く、「60 歳代」及び「70 歳以上」では「テレビ」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「インターネット」が最も多い。

【地域別傾向】 地域別にみると、「テレビ」と回答した割合が最も多い地域は 3 地域であり、「インターネット」と回答した割合が最も多い地域は 9 地域。

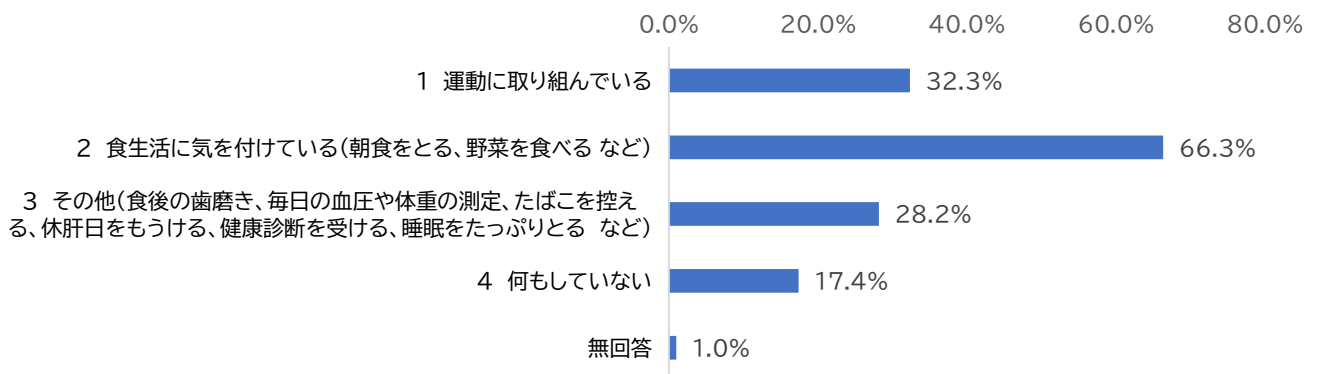
「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・TikTok
- ・ネット上のニュース
- ・友人知人
- ・ポスター

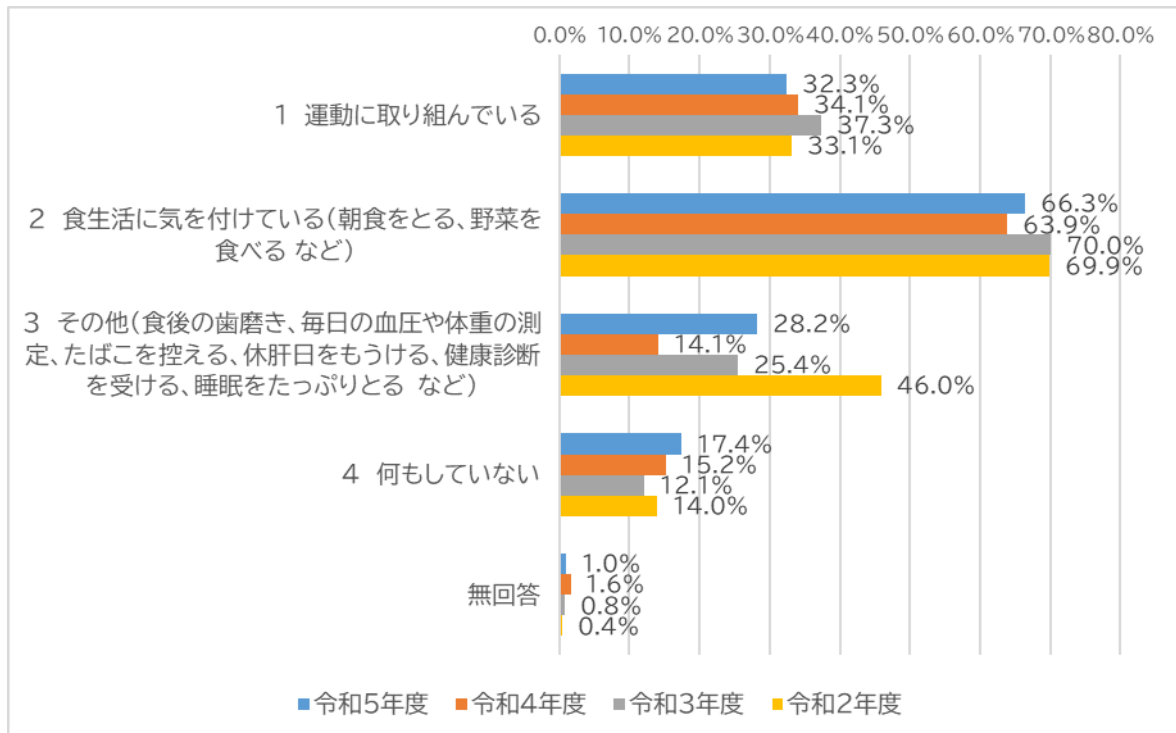
2. 健康管理について

問5 あなたは、運動や食生活など、健康に関する取組みを行っていますか。
(いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 運動に取り組んでいる	195	32.3%
2 食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べる など）	400	66.3%
3 その他	170	28.2%
4 何もしていない	105	17.4%
無回答	6	1.0%
合計	603	100.0%



【前回等調査との比較】



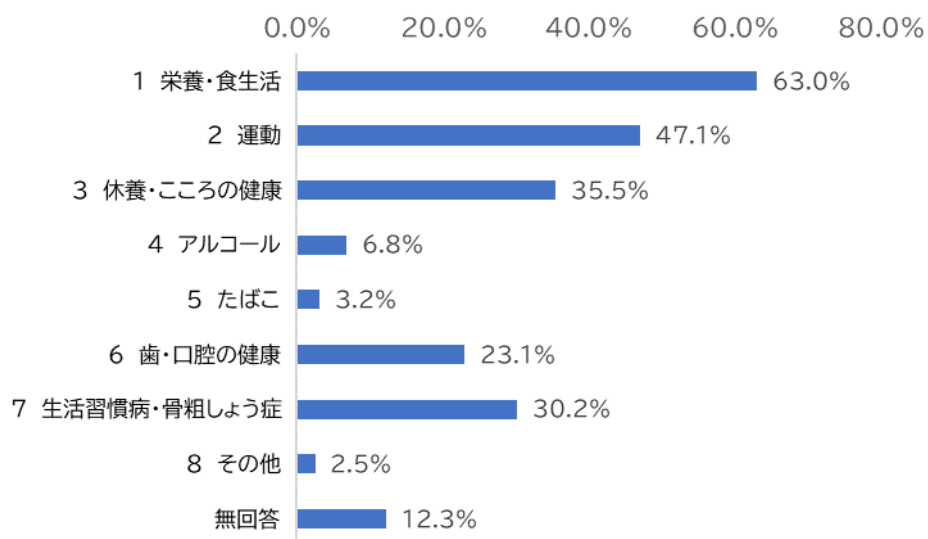
- 【全体的傾向】 「食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べるなど）」と回答した割合が最も多く、66.3%となっている。
- 【年齢別傾向】 すべての年代で「食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べるなど）」が最も多い。また「何もしていない」では「30 歳代」が 23.3%となっており、他の年代よりも高い。
- 【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べるなど）」が最も多い。
- 【地域別傾向】 すべての地域で「食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べるなど）」が最も多く、なかでも「緑地域」は 73.0%と最も多い。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- | | | |
|------------|----------------------|-----------------|
| ・血圧測定、体重測定 | ・ウォーキング | ・体操・ストレッチ |
| ・睡眠、休息をとる | ・酒、タバコを控える | ・ストレスをためないようにする |
| ・早寝早起き | ・サプリの摂取 | ・歯磨き |
| ・規則正しい生活 | ・健康診断、人間ドック、歯科検診を受ける | |

問6 あなたは、健康増進のためにどのようなことを知りたいですか。（3つまで選んでください）

選択肢	件数	割合
1 栄養・食生活	380	63.0%
2 運動	284	47.1%
3 休養・こころの健康	214	35.5%
4 アルコール	41	6.8%
5 たばこ	19	3.2%
6 歯・口腔の健康	139	23.1%
7 生活習慣病・骨粗しょう症	182	30.2%
8 その他	15	2.5%
無回答	74	12.3%
合計	603	100.0%



【全体的傾向】 「栄養・食生活」が63.0%と最も多く、次いで「運動」が47.1%、「休養・こころの健康」が35.5%などとなっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「栄養・食生活」が最も多い。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「栄養・食生活」が最も多い。

【地域別傾向】 「茨田東地域」を除くすべての地域で「栄養・食生活」が最も多い。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・睡眠
- ・ストレス解消、発散法
- ・健康診断、病院
- ・年代ごとの発症しやすい病気と予防法

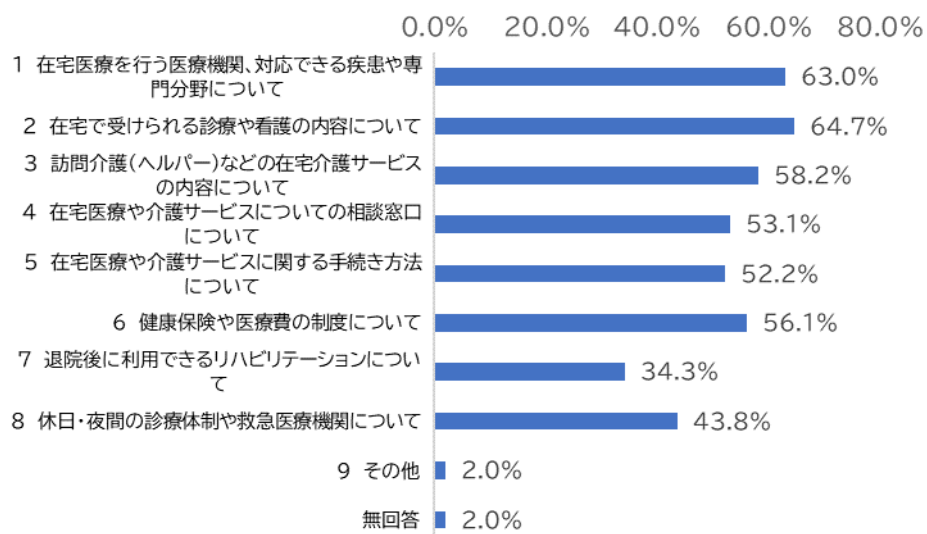
3. 在宅医療（※）や介護サービスについて

問7 あなたは、医療と介護の両方を必要とする状態となった場合、住み慣れた地域で暮らすため、どのような情報が必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）

※在宅医療とは

通院が困難な方のご自宅に医師や看護師等が訪問し、ご自宅で診療を受けていただくことで、在宅での療養生活を支援するものです。

選択肢	件数	割合
1 在宅医療を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について	380	63.0%
2 在宅で受けられる診療や看護の内容について	390	64.7%
3 訪問介護（ヘルパー）などの在宅介護サービスの内容について	351	58.2%
4 在宅医療や介護サービスについての相談窓口について	320	53.1%
5 在宅医療や介護サービスに関する手続き方法について	315	52.2%
6 健康保険や医療費の制度について	338	56.1%
7 退院後に利用できるリハビリテーションについて	207	34.3%
8 休日・夜間の診療体制や救急医療機関について	264	43.8%
9 その他	12	2.0%
無回答	12	2.0%
合計	603	100.0%



- 【全体的傾向】 「在宅で受けられる診療や看護の内容について」が 64.7%と最も多く、次いで「在宅医療を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について」が 63.0%などとなっている。
- 【年齢別傾向】 「40 歳代」「50 歳代」では「在宅医療を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について」が最も多く、「60 歳以上」では「在宅で受けられる診療や看護の内容について」が最も多い。
- 【居住年数別傾向】 「在宅で受けられる診療や看護の内容について」は「1 年以上 5 年未満」「10 年以上」で、「在宅医療を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について」は「1 年未満」「5 年以上 10 年未満」でそれぞれ多い。「1 年未満」では同率で「健康保険や医療費の制度について」も多い。
- 【地域別傾向】 「在宅医療を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について」と回答した割合が最も多い地域は 5 地域であり、「在宅で受けられる診療や看護の内容について」と回答した割合が最も多い地域は 9 地域となっている（同率を含む）。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・介護度に応じた点数や施設利用料の値下り率など。
- ・福祉用具のレンタル支援など介護度がどれぐらいで何がレンタル可能か詳しく知りたい。
- ・子供が熱を出したとき預けられる先
- ・ひとり暮らしや老人のサポート

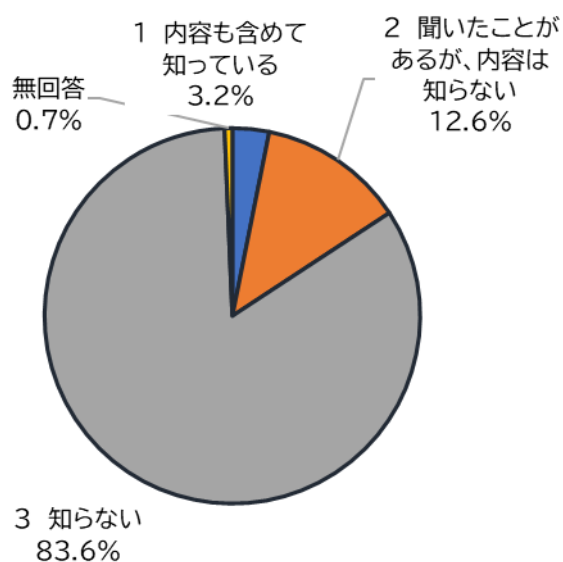
4. 「人生会議」について

問8 あなたは、「人生会議」(※)を知っていますか。(1つ選んでください)

※人生会議とは

誰でも、いつでも、命に係わる大きな病気やケガをする可能性があります。もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組みを「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」といいます。

選択肢	件数	割合
1 内容も含めて知っている	19	3.2%
2 聞いたことがあるが、内容は知らない	76	12.6%
3 知らない	504	83.6%
無回答	4	0.7%
合計	603	100.0%



【全体的傾向】 「知らない」と回答した割合が最も多く、83.6%となっている。

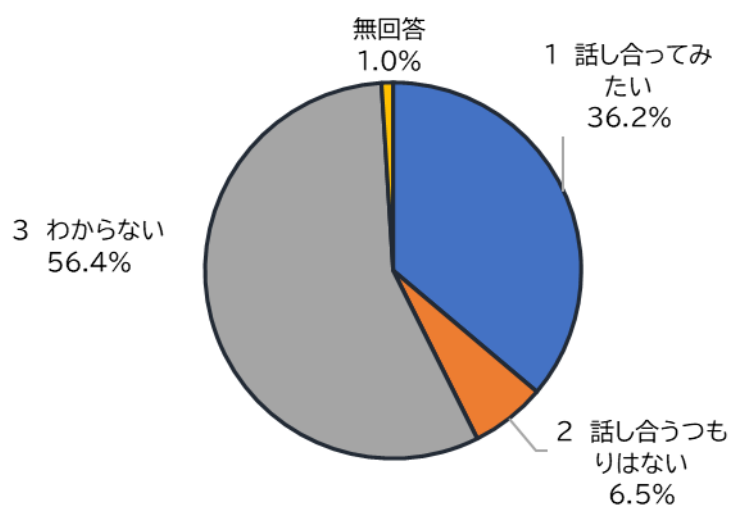
【年齢別傾向】 すべての年代で「知らない」が最も多く、なかでも「30 歳未満」が最も多く、87.9%となっている。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「知らない」が最も多く、特に「1 年未満」では 100%となっている。

【地域別傾向】 すべての地域で「知らない」が最も多く、「茨田南地域」は 91.5%と最も多くなっている。

問9 あなたは、今後「人生会議」について、家族や友人、医療・介護従事者と話し合ってみたいですか？
(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 話し合ってみたい	218	36.2%
2 話し合うつもりはない	39	6.5%
3 わからない	340	56.4%
無回答	6	1.0%
合計	603	100.0%



【全体的傾向】 「わからない」と回答した割合が最も多く、56.4%となっている。

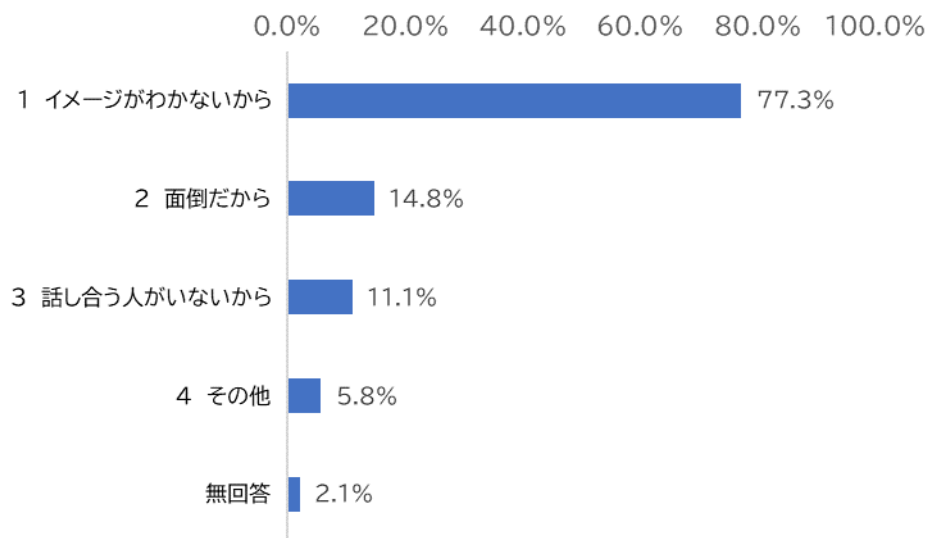
【年齢別傾向】 すべての年代では「わからない」が最も多く、なかでも「60 歳代」では 67.0%と最も多くなっている。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「わからない」が最も多い。

【地域別傾向】 「鶴見北地域」以外のすべての地域で「わからない」と回答した割合が最も多く、なかでも「茨田南地域」が最も多く 70.2%となっている。「鶴見北地域」では「話し合ってみたい」が 55.6%となっている。

問 10 (問 9 で「 2 話し合うつもりはない」「 3 わからない」と回答された方へ
その理由は何ですか？ (いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 イメージがわからないから	293	77.3%
2 面倒だから	56	14.8%
3 話し合う人がいないから	42	11.1%
4 その他	22	5.8%
無回答	8	2.1%
合計	379	100.0%



【全体的傾向】 「イメージがわからないから」が 77.3%と最も多く、次いで「面倒だから」が 14.8%などとなっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「イメージがわからないから」が最も多い。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「イメージがわからないから」が最も多い。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・余裕がない
- ・話す相手がいない
- ・必要がない
- ・人生会議がわかっていない
- ・日々の生活で話している

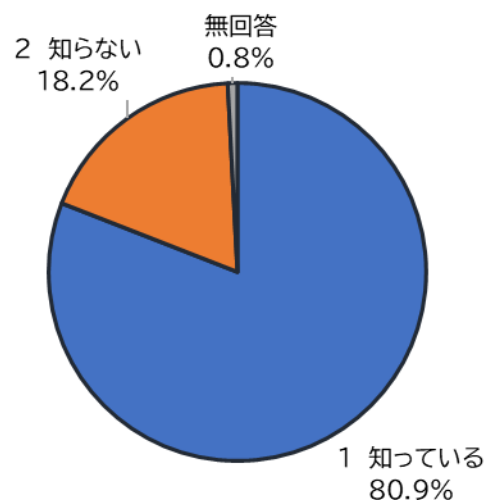
5. 地震・風水害等の災害について

問 11 あなたは、浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった時に、ご自分（家族）の災害時避難所（※）がどこにあるか知っていますか。（1つ選んでください）

※災害時避難所とは

浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった方々が一定期間滞在し、生活環境を確保するための施設です。お近くの小学校や中学校の体育館などが災害時避難所に指定されています。

選択肢	件数	割合
1 知っている	488	80.9%
2 知らない	110	18.2%
無回答	5	0.8%
合計	603	100%



【全体的傾向】 「知っている」と回答した割合は、80.9%となっている。

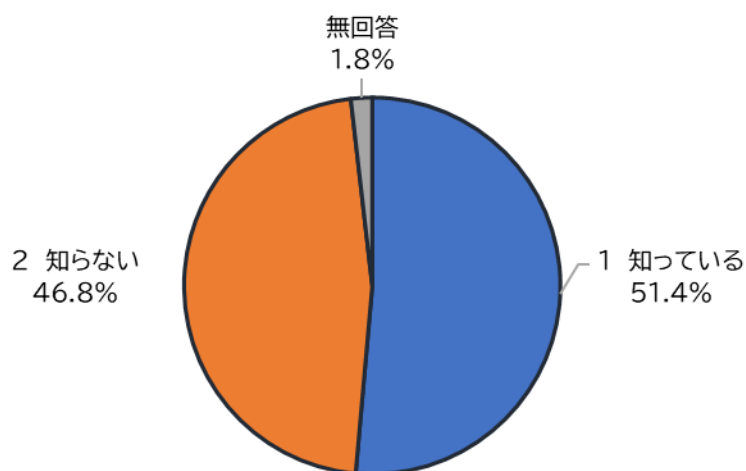
【年齢別傾向】 「知っている」と回答した割合を年齢別にみると、「40 歳代」が最も多く、84.0%となっている。40 歳以上は全て 80%を超えている。
最も少ないのは「30 歳未満」で 70.7%となっている。

【居住年数別傾向】 「知っている」と回答した割合を居住年数別にみると、「10 年以上」が最も多く、84.7%となっている。居住年数が長いほど割合が高い。
最も少ないのは「1 年未満」で 42.9%となっている。

【地域別傾向】 「知っている」と回答した割合を地域別にみると、「鶴見北地域」が最も多く、96.3%となっている。最も少ないのは「茨田東地域」で 70.6%となっている。

問 12 あなたは、災害が発生した場合、自宅での居住の継続ができる場合は在宅避難が推奨されることについて知っていますか。
(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 知っている	310	51.4%
2 知らない	282	46.8%
無回答	11	1.8%
合計	603	100.0%



【全体的傾向】 「知っている」と回答した割合は、51.4%となっている。

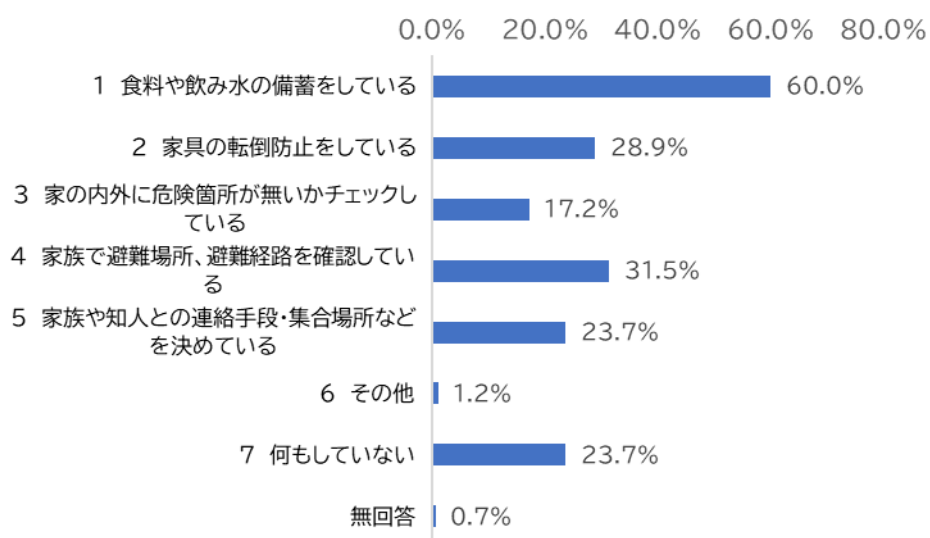
【年齢別傾向】 「知っている」と回答した割合を年齢別にみると、「70 歳以上」が最も多く、55.2%となっている。最も少ないのは「30 歳未満」で 37.9%となっている。

【居住年数別傾向】 「知っている」と回答した割合を居住年数別にみると、「1 年以上 5 年未満」が最も多く、57.4%となっている。最も少ないのは「1 年未満」で 42.9%となっている。

【地域別傾向】 「知っている」と回答した割合を地域別にみると、「鶴見北地域」が最も多く、59.3%となっている。最も少ないのは「茨田南地域」で 42.6%となっている。

問 13 あなたは、備蓄などいざという時に備えていますか。（いくつでも選んでください。また【開始時期】も選んでください）※「昨年度以前」は、令和 5(2023)年 3 月末以前、「今年度」は令和 5(2023)年 4 月以降

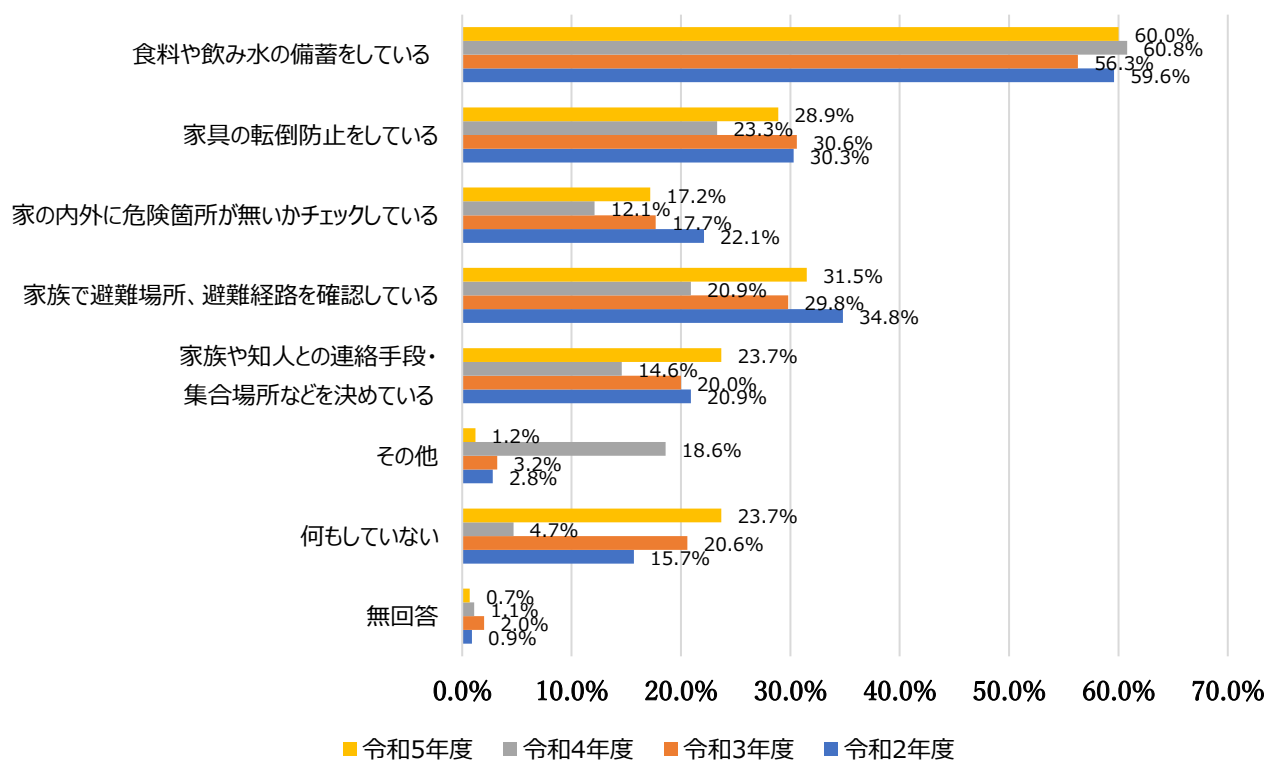
選択肢	件数	割合
1 食料や飲み水の備蓄を【昨年度以前・今年度】からしている	362	60.0%
2 家具の転倒防止を【昨年度以前・今年度】からしている	174	28.9%
3 家の内外に危険箇所が無い【昨年度以前・今年度】からチェックしている	104	17.2%
4 家族で避難場所、避難経路を【昨年度以前・今年度】から確認している	190	31.5%
5 家族や知人との連絡手段・集合場所などを【昨年度以前・今年度】から決めている	143	23.7%
6 その他	7	1.2%
7 何もしていない	143	23.7%
無回答	4	0.7%
合計	603	100.0%



【開始時期別】

選択肢	昨年度以前		今年度		無回答		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1 食料や飲み水の備蓄をしている	283	46.9%	24	4.0%	55	9.1%	362	60.0%
2 家具の転倒防止をしている	149	24.7%	2	0.3%	23	3.8%	174	28.9%
3 家の内外に危険箇所が無いかチェックしている	77	12.8%	3	0.5%	24	4.0%	104	17.2%
4 家族で避難場所、避難経路を確認している	142	23.5%	16	2.7%	32	5.3%	190	31.5%
5 家族や知人との連絡手段・集合場所などを決めている	113	18.7%	12	2.0%	18	3.0%	143	23.7%

【前回等調査との比較】



【全体的傾向】 「食料や飲み水の備蓄をしている」が60.0%と最も多く、次いで「家族で避難場所、避難経路を確認している」が31.5%、「家具の転倒防止をしている」が28.9%などとなっている。

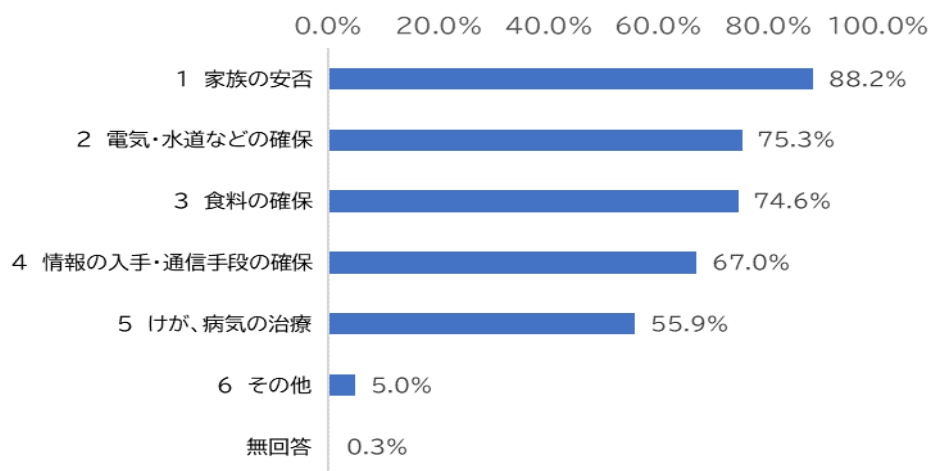
【年齢別傾向】 すべての年代で「食料や飲み水の備蓄をしている」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「食料や飲み水の備蓄をしている」と回答した割合が最も多い。

【地域別傾向】 すべての地域で「食料や飲み水の備蓄をしている」と回答した割合が最も多い。

問 14 あなたが、災害発生時心配なことは何ですか。（いくつでも選んでください）

選択肢	件数	割合
1 家族の安否	532	88.2%
2 電気・水道などの確保	454	75.3%
3 食料の確保	450	74.6%
4 情報の入手・通信手段の確保	404	67.0%
5 けが、病気の治療	337	55.9%
6 その他	30	5.0%
無回答	2	0.3%
合計	603	100.0%



【全体的傾向】 「家族の安否」が 88.2%と最も多く、次いで「電気・水道などの確保」が 75.3%、「食料の確保」が 74.6%などとなっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「家族の安否」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「家族の安否」と回答した割合が最も多い。

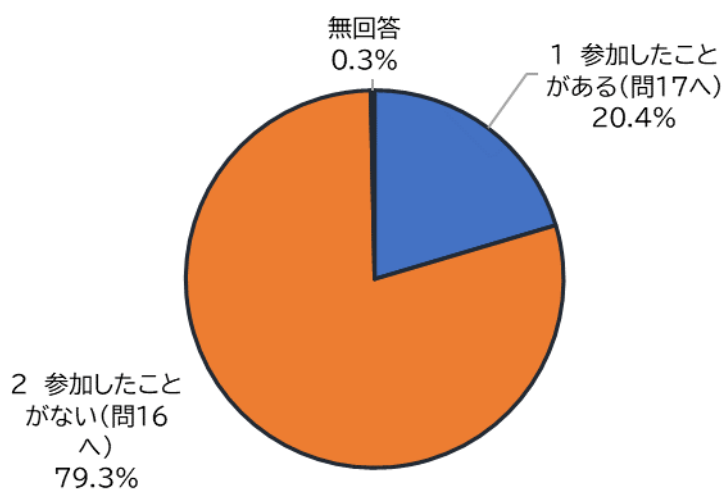
【地域別傾向】 すべての地域で「家族の安否」と回答した割合が最も多い。

その他

- ・トイレ、風呂などの衛生面
- ・感染症対策
- ・ペットとの避難
- ・生活資金
- ・プライバシーの確保
- ・障がいを抱えている方との避難

問 15 鶴見区では、小学校区単位で地域のさまざまな課題解決のため「地域活動協議会」が活動しており、地域防災力向上のため、学校や公園で防災訓練をしています。あなたは、これまで鶴見区内で開催された防災訓練に参加したことがありますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 参加したことがある（⇒問 17 へ）	123	20.4%
2 参加したことがない（⇒問 16 へ）	478	79.3%
無回答	2	0.3%
合計	603	100.0%



【全体的傾向】 「参加したことがある」と回答した割合は 20.4%となっている。

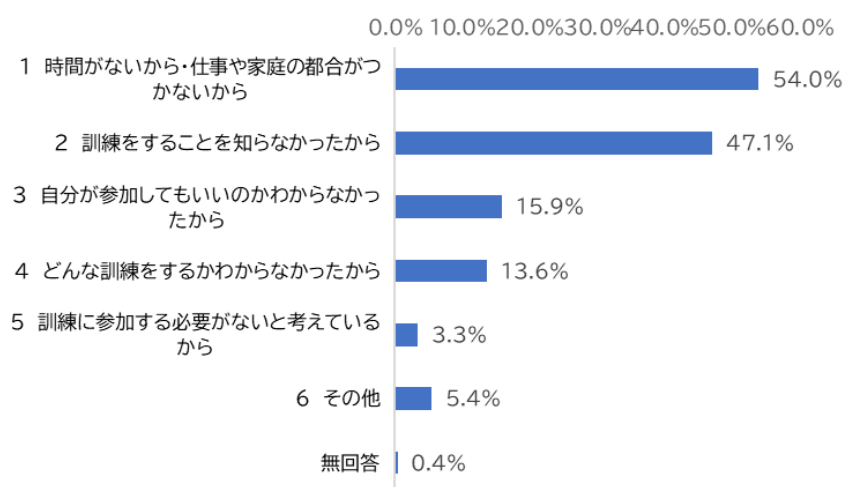
【年齢別傾向】 「参加したことがある」と回答した割合を年齢別にみると、「70 歳以上」が最も多く、29.5%となっている。最も少ないのは「30 歳代」で 2.7%となっている。

【居住年数別傾向】 「参加したことがある」と回答した割合を居住年数別にみると、「10 年以上」が最も多く、26.1%となっている。最も少ないのは「1 年未満」で 0%となっている。

【地域別傾向】 「参加したことがある」と回答した割合を地域別にみると、「茨田東地域」が最も多く、29.4%となっている。最も少ないのは「焼野地域」で 13.3%となっている。

問 16 (問 15 で「2 参加したことがない」と回答された方へ)
その理由は何ですか？（いくつでも選んでください）

選択肢	件数	割合
1 時間がないから・仕事や家庭の都合がつかないから	258	54.0%
2 訓練をすることを知らなかったから	225	47.1%
3 自分が参加してもいいのかわからなかったから	76	15.9%
4 どんな訓練をするかわからなかったから	65	13.6%
5 訓練に参加する必要があると考えているから	16	3.3%
6 その他	26	5.4%
無回答	2	0.4%
合計	478	100.0%



【全体的傾向】 「時間がないから・仕事や家庭の都合がつかないから」が 54.0%と最も多く、次いで「訓練することを知らなかったから」が 47.1%となっている。

【年齢別傾向】 「30 歳未満」では「時間がないから・仕事や家庭の都合がつかないから」と「訓練をすることを知らなかったから」が同率で最も多く、61.5%となっている。
「30 歳代」と「70 歳以上」では「訓練することを知らなかったから」が最も多く、「30 歳代」は 67.6%、「70 歳以上」が 37.0%となっている。

【居住年数別傾向】 「10 年以上」以外では「訓練をすることを知らなかったから」と回答した割合が最も多く、「1 年未満」は 35.7%、「1 年以上 5 年未満」は 68.7%、「5 年以上 10 年未満」は 58.2%となっている。

【地域別傾向】 「時間がないから・仕事や家庭の都合がつかないから」は 9 地域で、「訓練をすることを知らなかったから」は 4 地域で最も多い（件数は同率含む）。

その他

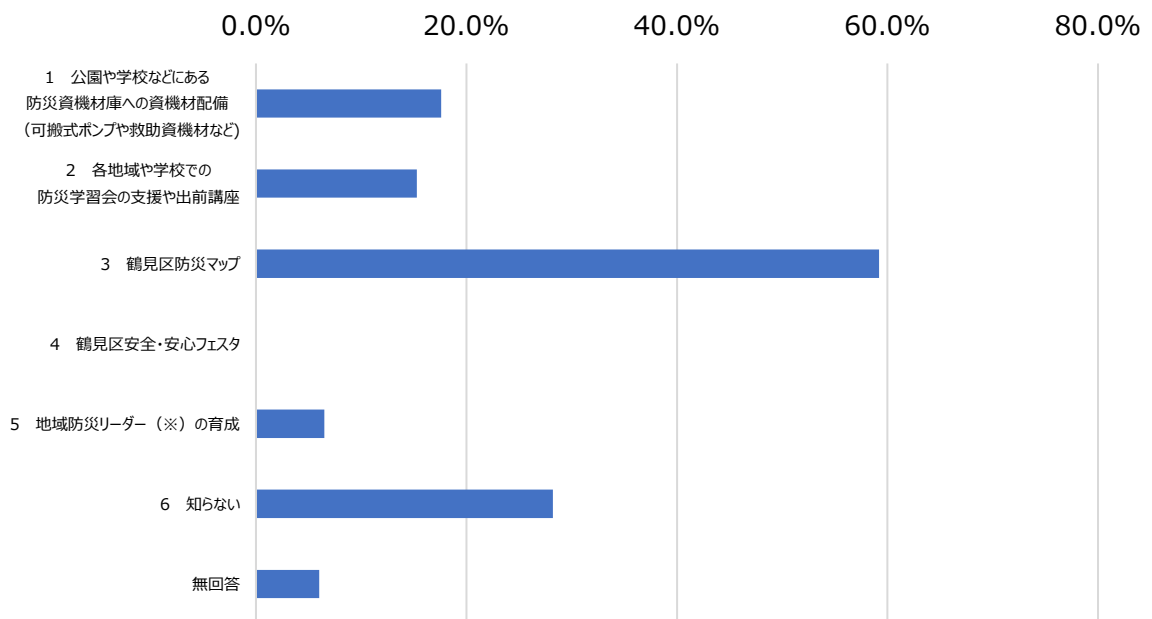
- ・地域情報を把握していなかった
- ・なんとなくおっくう
- ・人と接したくない
- ・持病のため参加できない

問 17 鶴見区では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。あなたが知っている防災事業を選んでください。（いくつでも選んでください）

選択肢	件数	割合
1 公園や学校などにある防災資機材庫への資機材配備（可搬式ポンプや救助資機材など）	106	17.6%
2 各地域や学校での防災学習会の支援や出前講座	92	15.3%
3 鶴見区防災マップ	357	59.2%
4 鶴見区安全・安心フェスタ	0	0.0%
5 地域防災リーダー（※）の育成	39	6.5%
6 知らない	170	28.2%
無回答	36	6.0%
合計	603	100.0%

※地域防災リーダーとは

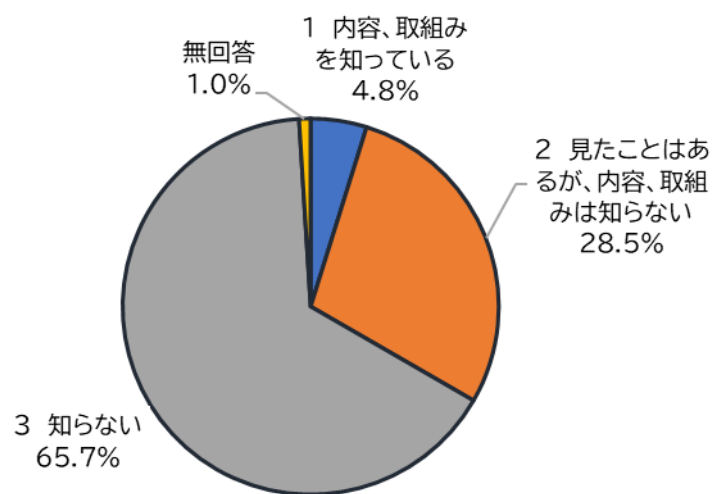
災害時の初期初動において、消火・救出救護活動を行う地域のリーダーとして、平時より訓練や啓発活動に取り組む方々です。



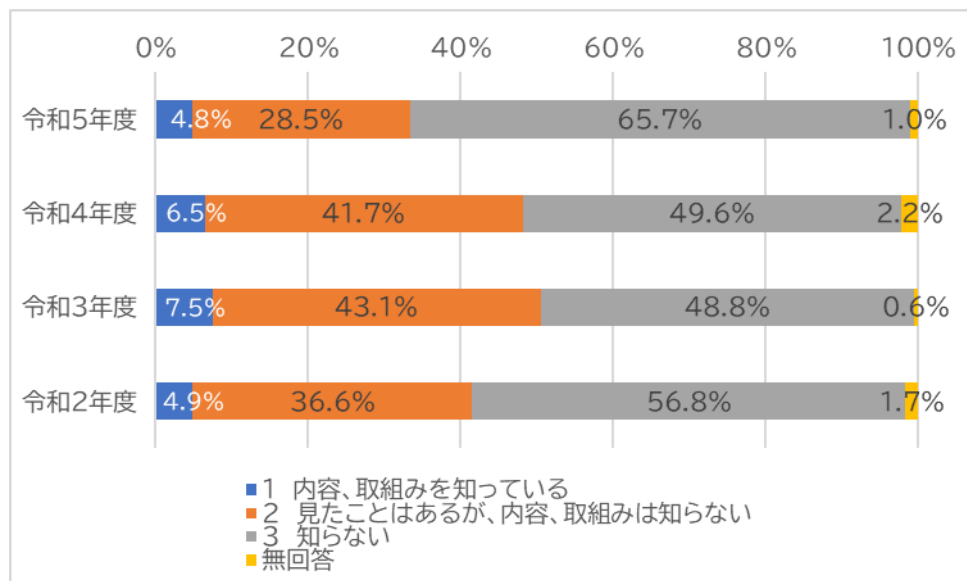
- 【全体的傾向】 「鶴見区防災マップ」が 59.2%と最も多く、次いで「知らない」が 28.2%、「公園や学校などにある防災資機材庫への資機材配備（可搬式ポンプや救助資機材など）」が 17.6%などとなっている。
- 【年齢別傾向】 すべての年代で「鶴見区防災マップ」と回答した割合が最も多い。「知らない」と回答した割合を年齢別にみると、「30 歳未満」が 48.3%と最も多く、「70 歳以上」が 21.0%と最も少ない。
- 【居住年数別傾向】 1 年未満を除くすべての居住年数で「鶴見区防災マップ」と回答した割合が最も多い。
- 【地域別傾向】 すべての地域で「鶴見区防災マップ」と回答した割合が最も多い。「知らない」と回答した割合を地域別にみると、「今津地域」が 36.8%と最も多く、「茨田北地域」が 10.6%と最も少ない。

問 18 鶴見区では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区防災計画」（鶴見区ホームページに掲載）について作成しています。
あなたは、「鶴見区防災計画」などの取組を知っていますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 内容、取組を知っている	29	4.8%
2 見たことはあるが、内容、取組は知らない	172	28.5%
3 知らない	396	65.7%
無回答	6	1.0%
合計	603	100.0%



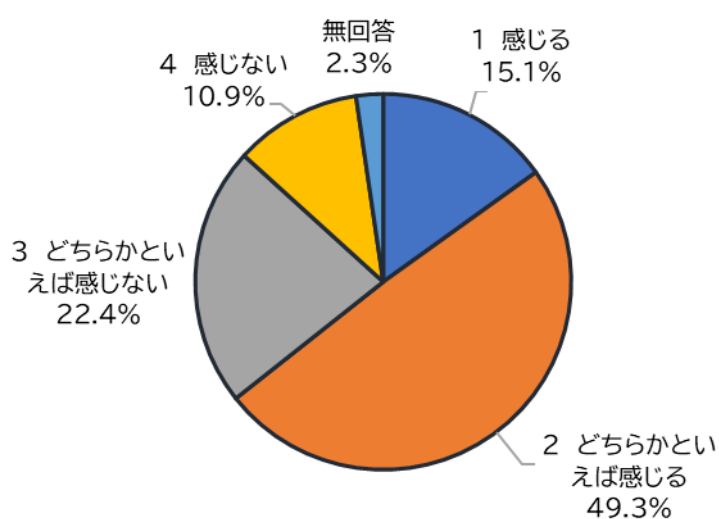
【前回等調査との比較】



- 【全体的傾向】 「見たことはあるが、内容、取組みは知らない」（28.5%）、「知らない」（65.7%）を合わせると94.2%の方が「鶴見区防災計画」などの内容やその取組みを知らない。
- 【年齢別傾向】 「知らない」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳未満」が最も多く、74.1%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「知らない」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年以上5年未満」が最も多く、73.5%となっている。
- 【地域別傾向】 「知らない」と回答した割合を地域別にみると、「榎本地域」が最も多く、72.2%となっている。

問 19 あなたは、鶴見区で実施している取組み（区民の防災意識の向上や地域防災力の強化に向けた支援など）が、今後の災害に対する備えにつながっていると感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	91	15.1%
2 どちらかといえば感じる	297	49.3%
3 どちらかといえば感じない	135	22.4%
4 感じない	66	10.9%
無回答	14	2.3%
合計	603	100.0%



【全体的傾向】 「感じる」（15.1%）、「どちらかといえば感じる」（49.3%）を合わせると 64.4%の方が区役所で実施している取組みが、今後の災害に対する備えにつながっていると感じている。

【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「40 歳代」が最も多く、69.7%となっている。最も少ないのは「30 歳代」で 60.3%となっている。

【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「5 年以上 10 年未満」が最も多く、68.5%となっている。最も少ないのは「1 年未満」で 57.1%となっている。

【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「緑地域」が最も多く、78.4%となっている。

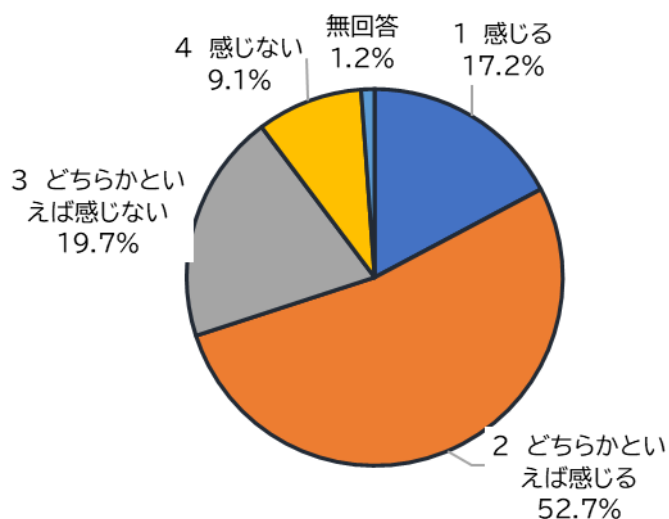
6. 安全で住みやすいまちづくりについて

問 20 鶴見区では、さまざまな防犯事業（※）に取り組んでいます。あなたは、鶴見区で実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。（1つ選んでください）

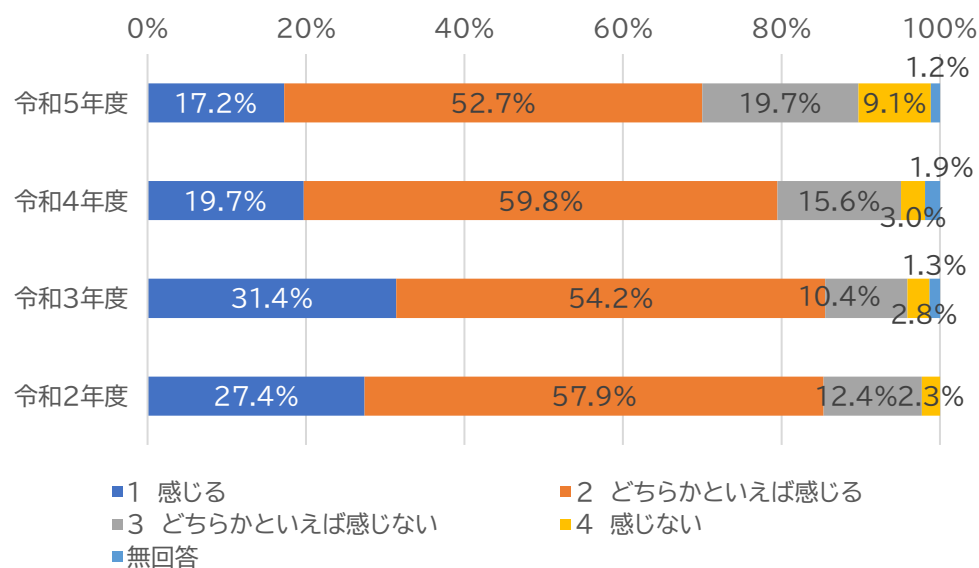
※鶴見区が実施している防犯事業

・自転車ひたくり防止カバーキャンペーン、防犯カメラの設置・街路防犯灯の助成、毎月 26 日の自転車盗難防止啓発のための 2 重（ツー）ロックキャンペーン、・青色防犯パトロール車による巡回 ・小学生の下校時にあわせた鶴見区防犯の日一斉行動

選択肢	件数	割合
1 感じる	104	17.2%
2 どちらかといえば感じる	318	52.7%
3 どちらかといえば感じない	119	19.7%
4 感じない	55	9.1%
無回答	7	1.2%
合計	603	100.0%



【前回等調査との比較】



【全体的傾向】 「感じる」（17.2%）、「どちらかといえば感じる」（52.7%）を合わせると 69.9%の方が鶴見区で実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じている。

【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30 歳未満」が最も多く、74.1%となっている。最も少ないのは「30 歳代」で 58.9%となっている。

【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「1 年未満」が最も多く、71.4%となっている。

【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「茨田西地域」が最も多く、85.7%となっている。

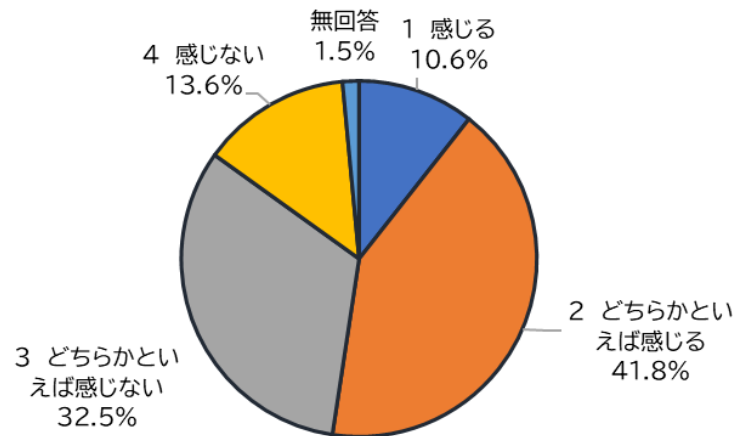
問 21 鶴見区では、地域・関係機関と連携して交通安全対策事業（※）を行っています。

あなたは、鶴見区が実施している交通安全対策事業が、区の交通マナー向上につながっていると感じますか。（1つ選んでください）

※鶴見区が実施している交通安全対策事業

- ・警察や学校と協働した交通安全教室などの交通マナーを高める取組み
- ・Osaka Metro「今福鶴見」駅・JR「放出」駅周辺での放置自転車追放のためのキャンペーン

選択肢	件数	割合
1 感じる	64	10.6%
2 どちらかといえば感じる	252	41.8%
3 どちらかといえば感じない	196	32.5%
4 感じない	82	13.6%
無回答	9	1.5%
合計	603	100.0%



【全体的傾向】 「感じる」（10.6%）、「どちらかといえば感じる」（41.8%）を合わせると52.4%の方が区役所が実施している交通安全対策事業が、区の交通マナー向上につながっていると感じている。

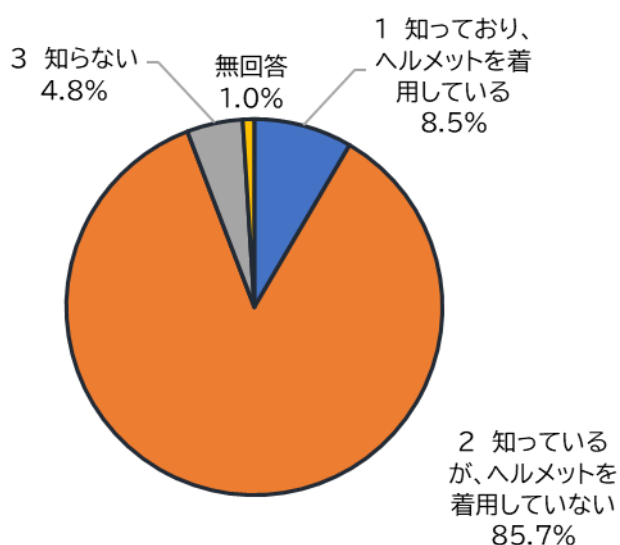
【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「70 歳代」が最も多く、60.0%となっている。

【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「5 年以上 10 年未満」が最も多く、54.8%となっている。

【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「緑地域」が最も多く73.0%となっている。

問 22 あなたは、道路交通法の改正により、令和 5 年 4 月 1 日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されたことを知っていますか。（1 つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 知っており、ヘルメットを着用している	51	8.5%
2 知っているが、ヘルメットを着用していない	517	85.7%
3 知らない	29	4.8%
無回答	6	1.0%
合計	603	100.0%



【全体的傾向】 ヘルメット着用の努力義務について「知っており、ヘルメットを着用している」（8.5%）と「知っているが、ヘルメットを着用していない」（85.7%）を合わせると 94.2%の方が努力義務化されたことを知っている。

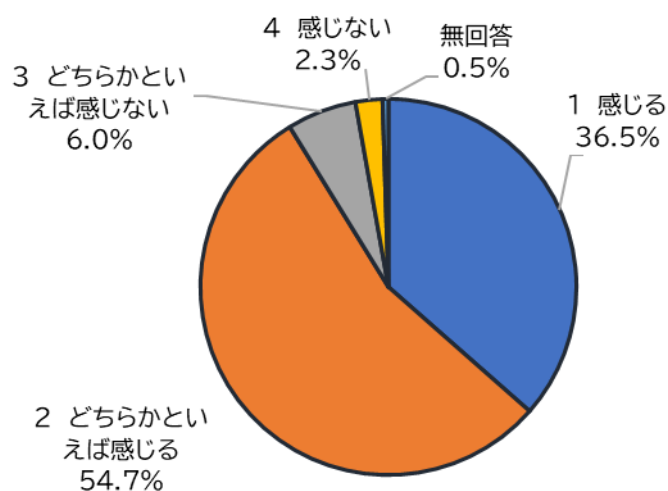
【年齢別傾向】 「知っており、ヘルメットを着用している」又は「知っているが、ヘルメットを着用していない」と回答した割合を年齢別にみると、最も多いのは「50 歳代」で 98.6%となっている。

【居住年数別傾向】 「知っており、ヘルメットを着用している」又は「知っているが、ヘルメットを着用していない」と回答した割合を居住年数別にみると、最も多いのは「10 年以上」で 94.8%となっている。

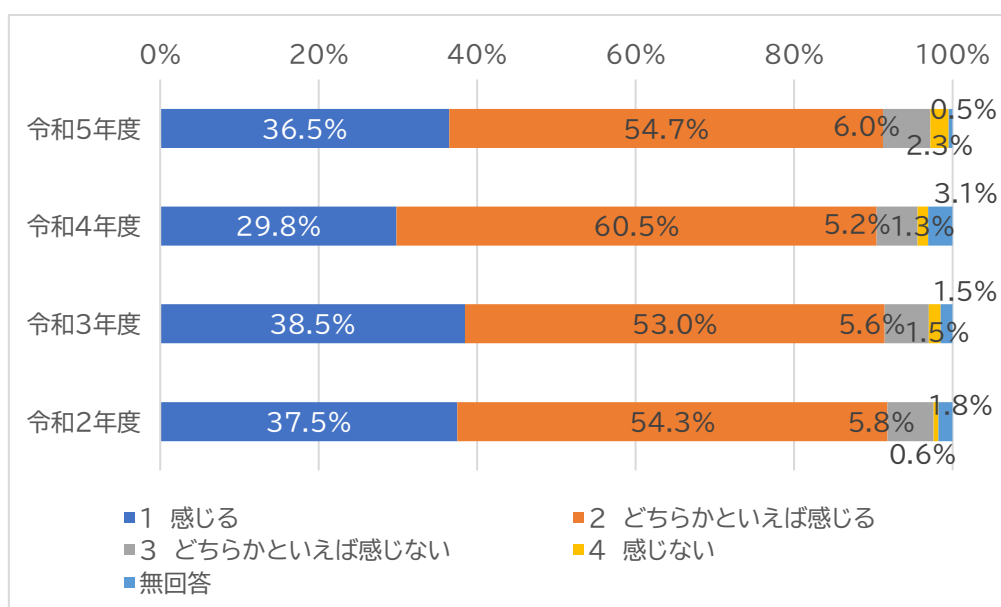
【地域別傾向】 「知っており、ヘルメットを着用している」又は「知っているが、ヘルメットを着用していない」と回答した割合を地域別にみると、最も多いのは「茨田北地域」で 97.9%となっている。

問 23 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	220	36.5%
2 どちらかといえば感じる	330	54.7%
3 どちらかといえば感じない	36	6.0%
4 感じない	14	2.3%
無回答	3	0.5%
合計	603	100.0%



【前回等調査との比較】



- 【全体的傾向】 「感じる」(36.5%)、「どちらかといえば感じる」(54.7%)を合わせると91.2%の方が鶴見区は安全で住みやすいまちと感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳代」が最も多く、97.3%となっている。最も少ないのは「70歳以上」で88.6%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「5年以上10年未満」が最も多く、93.2%となっている。最も少ないのは「10年以上」で90.8%となっているが、各年数で大きな差はない。
- 【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「緑地域」と「鶴見北地域」が最も多く、100.0%となっている。最も少ないのは「今津地域」で82.8%となっている。

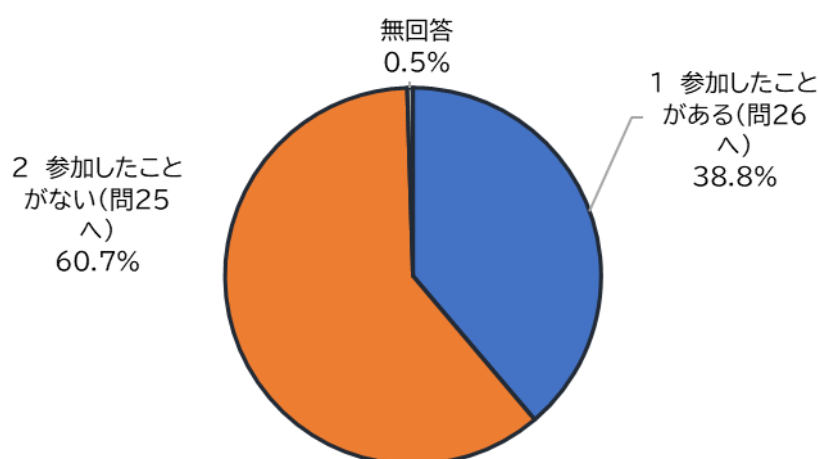
7. 地域活動協議会（地活協）について

問 24 お住まいの地域には、地域におけるさまざまな課題を解決するため、「地域活動協議会（地活協）」が活動しています。あなたは、これまで地活協の行事（活動）（※）に参加したことがありますか。（1つ選んでください）

※地域活動協議会（地活協）が実施している主な行事（活動）

防災訓練、青色防犯パトロール、子ども見守り隊活動、防犯一斉行動、歳末夜警、運動会、もちつき大会、ふれあい喫茶、子育てサロン、高齢者食事サービス、盆踊り・夏祭り、百歳体操、ペットボトル回収等

選択肢	件数	割合
1 参加したことがある（⇒問 26 へ）	234	38.8%
2 参加したことがない（⇒問 25 へ）	366	60.7%
無回答	3	0.5%
合計	603	100%



【全体的傾向】 「参加したことがない」と回答した割合は 60.7%となっており、「参加したことがある」と回答した割合（38.8%）よりも多くなっている。

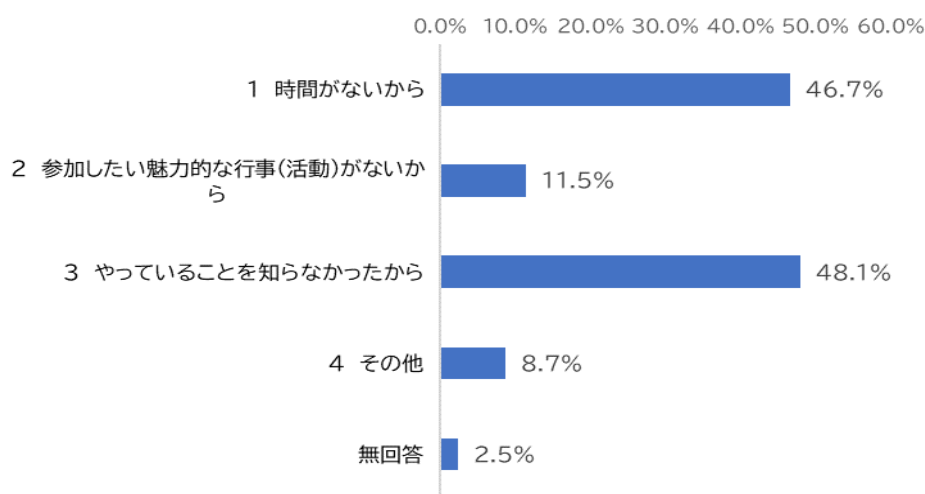
【年齢別傾向】 すべての年代では「参加したことがない」の方が多い。「参加したことがない」と回答した割合が最も多いのは「30 歳代」で 71.2%となっている。

【居住年数別傾向】 すべての年代で「参加したことがない」と回答した割合が多く、なかでも「1 年以上 5 年未満」では 83.8%と最も多くなっている。

【地域別傾向】 「参加したことがある」と回答した割合を地域別にみると、「茨田地域」が最も多く、53.6%となっている。

問 25 (問 24 で「2 参加したことがない」と回答された方へ)
その理由は何ですか？ (いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 時間がないから	171	46.7%
2 参加したい魅力的な行事(活動)がないから	42	11.5%
3 やっていることを知らなかったから	176	48.1%
4 その他	32	8.7%
無回答	9	2.5%
合計	366	100.0%



- 【全体的傾向】 「やっていることを知らなかった」が 48.1%と最も多く、次いで「時間がないから」が 46.7%、「参加したい魅力的な行事(活動)がないから」が 11.5%などとなっている。
- 【年齢別傾向】 「30 歳未満」「40 歳代」「60 歳代」では「時間がないから」と回答した割合が最も多く、その他の年代では「やっていることを知らなかった」と回答した割合が最も多い。
- 【居住年数別傾向】 「1 年未満」「5 年以上 10 年未満」「10 年以上」では「時間がないから」と回答した割合が最も多い。「1 年未満」(同率)、「1 年以上 5 年未満」では「やっていることを知らなかったから」が最も多い。
- 【地域別傾向】 「時間がないから」が最も多かったのは 5 地域、「やっていることを知らなかったから」が最も多かったのは 8 地域だった(1 地域同率)。

「その他」と回答された方のご意見(抜粋)

- ・時間がない
- ・参加したいと思わない
- ・参加の仕方がわからない
- ・体調が悪い(病気、ケガ)
- ・自分が参加するものと思わなかった。
- ・地域とのかかわりが薄い
- ・情報が入ってこない
- ・町会でやることだと思っていた。

8. 鶴見区全般について

問 26 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

【防災、防犯に関すること】

- 災害用品補助金などあれば、備える人も増えるのでは。増えればもしもの災害時に周辺の市・区に比べて生存率が高くなり、鶴見区は安全というアピールポイントに出来る。
- 街灯を増やして 住宅の装飾も派手にして 防犯カメラをもっと増やしてほしい。
- 定期的な見回りなど。
- 防犯カメラを増やして欲しい。高齢者が休憩できるベンチ的なものを設置してほしい。
- 災害時のためのシェルターづくりが必要だと思います。
- 防災計画について、防災避難マニュアル等を保管していたのを取り出して再確認した。災害時の協力店舗など表示しているかも知れないけれど、もっと頻繁に注意喚起ができることが重要と思う。
- 大通りから一筋入れば、暗い道が多いのでもう少し電灯などを増やしてほしいです。
- 防災、防犯など知らないことが多い。「広報つるみ」や他のチラシ等を用いて案内、広報を広くひろめて欲しい。今回の様なアンケートは良いと思います。

【高齢者に関すること】

- 高齢者の独り暮らしではなかなかどこに相談にいけばいいのかわからない、またどのようなことに取り組んでもらえるのかわかっていない。もちろん本人の不勉強も意識しています。今、現在も長期間にわたって困っていることがあり、どのように相談にいけばいいのかわかり悩んでいます。
- 介護と年老いた母と暮らしていますが、耳が遠いため、補聴器を必要としています。介護認定されるよりは軽いため、できれば、器具の貸出金額の補助やなるべく手に入れやすい、もしくは購入しやすい形に区としてなっていくと嬉しいなと思います。
- 地域的に高齢者が多いが運動的なサークルが少ない様に思います。
- 「子供食堂」と並列しての「おとな食堂」（高齢者の為の集まりの場を増やして欲しい）の実施。
- 高齢者食事サービス（ふれあい喫茶）を女性部が運営していますが、負担が多すぎます。餅つき大会はしてくれてうれしい。

【交通に関すること】

- 自転車ルールの普及。鶴見区は自転車に乗っている方が多いですが、非常に危ない運転が多いように思います。
- 歩道の白線が消えかかっているところがないように、車イスやベビーカーが通りにくい歩道を広げてほしい。
- JR 放出駅の自転車駐輪場が小さすぎます。よくいっぱいのため停められません。南海トラフについて、鶴見区として対策の状態を継続的に知りたい
- 自転車のルールをもっと教えて欲しい。特に逆行する自転車が怖いです。
- だんじり祭りがある時期の迂回情報。リアルタイムで見える事ができる交通情報。だんじり祭りの際、このような情報があまり入ってこず、不便に感じることがあります。

- 病院、店舗など利用される方の自転車の駐輪場所。歩行者が通れない位の継続的に停めている
- 電柱の削減（地中化）
- 老人への交通ルールの周知。自転車マナーが悪すぎる。
- 自転車の乗り方、歩道の走り方などマナー向上、理解の為のマナー教室（学生も含め）を開催してほしいです。

【子供たちに関すること】

- 子ども達が遊びに行くのに、親が安心して送り出せる町づくりをしてほしいです。
- 発達障がい、不登校、認知症などに関する、本人と家族の為の支援。
- 専門業者に依頼して子供が参加できる行事の質を高めてほしい。
- 子どもたちに対する防災訓練や防災セミナーや防犯セミナー、自転車の正しい乗り方講座など、今現在もやっているが今後もさらに続けてほしい。
- 子育てサポート 公園の改修、増設など 鶴見緑地公園の遊具がショボいし代わり映えないのもっと増やしてほしい
- 子どもの多い地域なのでベビーカーでも入りやすい店（エレベーターやエスカレーターがある）を増やしてほしい

【鶴見地域に関すること】

- 鶴見緑地を活用してのイベントが増え活気に満ちているなと感じます。更に有効活用し、観光地またはレジャー施設との意識付けをしてほしい。
- 各種取り組みのアピール度を高めるため、広報つるみの駅頭配布。
- 区役所に行った時は掲示板等で様々な取り組みを目にしますが、以外はあまり目にしません。ホームページも見にくい古い情報が多いのが気になります。鶴見は好きだしより住みやすく、情報発信が多角になれば良いと感じます。
- 遊歩道の植栽の一部を地域の有志が使えるようにして花の栽培をしてもらいたい。
- 行政活動を知る機会が少ないので、鶴見緑地公園で開催される種々のイベントの際に、広報・告知活動を（頻度を上げて）行う。
- ゴミ拾い（公園のゴミの量が毎日ひどい。お菓子の袋やペットボトルなので、子供たちにゴミは持って帰るよう促すべき）
- 市役所のアプリでも情報を教えてもらえたりするといいと思います。
- これだけ多くの人口がいる区なのだから、鶴見区アプリなどがあればいろんな活動の情報や鶴見緑地で開催されているイベントの情報なども知れて良いのにな、とよく思います。防災や防犯の情報も集約できるし良いのでは…
- 市民が見守り隊をするには限界があるし（高齢化、若い人は昼間仕事で出てこれない）ので警備員を雇う（合わせて地域での仕事を生む）
- 地域住民とのコミュニケーションを密にする事は大切だと感じる。子供会や町会、女性部等、面倒くさいと思う事も多いが繋がりが出来ることはいいことだと思う
- 地区のありかたを考えなおす時代になっている時かと思います。若い人たちの考え方が大きく変わってきています。その考えが良いとか悪いとかは別の事として、時代の流れかと思います。一人の老人の意見でございます。失礼な所がありましたらお許ください。
- 大阪市内、大阪府内の国公立大学、私立大学の大学院、大学、短期大学が連携し鶴見区内の鶴見緑地内に交流センター、交流会館の様な施設を希望します。そこでは、各大学の公開講座を一般市民、府民の方も参

加させて頂けるようにお願いしたいです。

- 地活協のルール作りを区が指導しているなら、規約も含め指導すべきである。コロナで活動も無く全てだけ集めて不正の温床を懸念する。一部の人の考えで進められるキケン性がある。災害マップ作りで終わりか？疑問である
- 鶴見緑地によく行くが、トイレがきたない事に不満がある。休日は遠くからも多くの方が来ているが鶴見区民として公園の美化（衛生面）を希望する。
- 榎本地域にも自習室や図書館があれば少し子どもを待たせるときに助かります。

【その他】

- 回覧板を廃止してほしい。代わりに LINE など SNS での情報伝達を進めてほしい。防犯カメラはもっと増やすべき。
- 保護犬、保護猫活動への支援（ドッグランの整備や地域猫の保護、備品の支援等）
- インターネットのある今、イベントのライブ放送をするなどの工夫が必要かと思います。

第2回 鶴見区民アンケート

- 質問ごとに選択肢から該当する**答えを選び、数字に○印**を付けてください。
- 「その他」() については、**かつこ内に具体的な内容を記入**してください。

貴重なお時間を頂戴することとなりますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 情報の入手について

問1 鶴見区では、広報紙『広報つるみ』を、毎月1～5日の間で、年12回各ご家庭・区内事業所に全戸配布しています。

あなたは、『広報つるみ』を読んでいますか。(1つ選んでください)

- 1 毎月読んでいる
- 2 年間(12回)の内、6回以上読んでいる
- 3 年間(12回)の内、読むのは5回以下
- 4 読んだことがない

問2 **あなたは、鶴見区が実施する広報(『広報つるみ』、区ホームページ、SNS、区広報板など)で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。(1つ選んでください)**

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 できている | 2 ほぼできている |
| 3 あまりできていない | 4 できていない |

問3 **あなたは、鶴見区が発信する『広報つるみ』や区ホームページ、SNS、区広報板を見て、区政(事業等の内容、イベントやお知らせ)について関心が高まりましたか。**

(1つ選んでください)

- 1 高まった
- 2 少し高まった
- 3 あまり高まらなかった
- 4 全然高まらなかった

『広報つるみ』が届いていない方は、区委託事業者【読売中央販売(株) 電話：06-6315-5751】までご連絡ください。



問4 あなたは、情報入手する手段として、どのような媒体（新聞、インターネットサイト、SNS等）をよく利用していますか。（いくつでも選んでください）

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 新聞 | 2 テレビ |
| 3 ラジオ | 4 チラシ |
| 5 インターネット | 6 フェイスブック |
| 7 X (旧 Twitter) | 8 Instagram |
| 9 LINE | 10 YouTube |
| 11 その他（ | ） |

2. 健康管理について

問5 あなたは、運動や食生活など、健康に関する取組みを行っていますか。
（いくつでも選んでください）

- 1 運動に取り組んでいる
- 2 食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べる など）
- 3 その他（ ）
（食後の歯磨き、毎日の血圧や体重の測定、たばこを控える、休肝日をもうける、健康診断を受ける、睡眠をたっぷりとる など）
- 4 何もしていない

問6 あなたは、健康増進のためにどのようなことを知りたいですか。（3つまで選んでください）

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 栄養・食生活 | 2 運動 |
| 3 休養・こころの健康 | 4 アルコール |
| 5 たばこ | 6 歯・口腔の健康 |
| 7 生活習慣病・骨粗しょう症 | |
| 8 その他（ | ） |



3. 在宅医療(※)や介護サービスについて

問7 あなたは、医療と介護の両方を必要とする状態となった場合、住み慣れた地域で暮らすため、どのような情報が必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）

※在宅医療とは

通院が困難な方のご自宅に医師や看護師等が訪問し、ご自宅で診療を受けていただくことで、在宅での療養生活を支援するものです。

- 1 在宅医療を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について
- 2 在宅で受けられる診療や看護の内容について
- 3 訪問介護（ヘルパー）などの在宅介護サービスの内容について
- 4 在宅医療や介護サービスについての相談窓口について
- 5 在宅医療や介護サービスに関する手続き方法について
- 6 健康保険や医療費の制度について
- 7 退院後に利用できるリハビリテーションについて
- 8 休日・夜間の診療体制や救急医療機関について
- 9 その他（ ）

4. 「人生会議」について

問 8 あなたは、「人生会議」(※)を知っていますか。（1 つ選んでください）

※人生会議とは

誰でも、いつでも、命に係わる大きな病気やケガをする可能性があります。

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する
取組みを「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」といいます。

- 1 内容も含めて知っている
- 2 聞いたことがあるが、内容は知らない
- 3 知らない

問 9 あなたは、今後「人生会議」について、家族や友人、医療・介護従事者と話し合ってみ
たいですか？（1 つ選んでください）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 話し合ってみたい | (⇒問 11 へ) |
| 2 話し合うつもりはない | } (⇒問 10 へ) |
| 3 わからない | |

問 10 は、問 9 で「2 話し合うつもりはない」「3 わからない」と回答された方のみお答えください。

問 10 その理由は何ですか？（いくつでも選んでください）

- | | | |
|----------------|---------|---------------|
| 1 イメージがわからないから | 2 面倒だから | 3 話し合う人がいないから |
| 4 その他 | [] | |

5. 地震・風水害等の災害について

問 11 あなたは、浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった時に、ご自分（家族）の災害時避難所（※）がどこにあるか知っていますか。（1つ選んでください）

- 1 知っている 2 知らない

※災害時避難所とは
浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった方々が一定期間滞在し、生活環境を確保するための施設です。**お近くの小学校や中学校の体育館などが災害時避難所**に指定されています。

※災害時避難所とは
浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった方々が一定期間滞在し、生活環境を確保するための施設です。**お近くの小学校や中学校の体育館などが災害時避難所**に指定されています。

お近くの避難所・避難場所がわからない場合は、鶴見区役所 1 階 8 番窓口市民協働課にお問合せください。
【電話：06-6915-9846】

問 12 あなたは、災害が発生した場合、自宅での居住の継続ができる場合は在宅避難が推奨されることについて知っていますか。（1つ選んでください）

- 1 知っている 2 知らない



問 13 あなたは、備蓄などいざという時に備えていますか。（いくつでも選んでください。また

【開始時期】も選んでください ※「昨年度以前」は、令和 5(2023)年 3 月末以前、「今年度」は令和 5(2023)年 4 月以降

- 1 食料や飲み水の備蓄を【昨年度以前・今年度】からしている
- 2 家具の転倒防止を【昨年度以前・今年度】からしている
- 3 家の内外に危険箇所が無い【昨年度以前・今年度】からチェックしている
- 4 家族で避難場所、避難経路を【昨年度以前・今年度】から確認している
- 5 家族や知人との連絡手段・集合場所などを【昨年度以前・今年度】から決めている
- 6 その他（ ）
- 7 何もしていない

問 14 あなたが、災害発生時心配なことは何ですか。（いくつでも選んでください）

- 1 家族の安否
- 2 電気・水道などの確保
- 3 食料の確保
- 4 情報の入手・通信手段の確保
- 5 けが、病気の治療
- 6 その他（



問 15 鶴見区では、小学校区単位で地域のさまざまな課題解決のため「地域活動協議会」が活動しており、地域防災力向上のため、学校や公園などで防災訓練を実施しています。
あなたは、これまで鶴見区内で開催された防災訓練に参加したことがありますか。
(1つ選んでください)

- 1 参加したことがある (⇒問 17 へ)
- 2 参加したことがない (⇒問 16 へ)

問 16 は、問 15 で「2 参加したことがない」と回答された方のみお答えください。

問 16 その理由は何ですか？ (いくつでも選んでください)

- 1 時間がないから・仕事や家庭の都合がつかないから
- 2 訓練をすることを知らなかったから
- 3 自分が参加してもいいのかわからなかったから
- 4 どんな訓練をするかわからなかったから
- 5 訓練に参加する必要があると考えているから
- 6 その他〔

問 17 鶴見区では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。
あなたが知っている防災事業を選んでください。 (いくつでも選んでください)

- 1 公園や学校などにある防災資機材庫への資機材配備
(可搬式ポンプや救助資機材など)
- 2 各地域や学校での防災学習会の支援や出前講座
- 3 鶴見区防災マップ
- 4 鶴見区安全・安心フェスタ
- 5 地域防災リーダー (※) の育成
- 6 知らない

※地域防災リーダーとは

災害時の初期初動において、消火・救出救護活動を行う地域のリーダーとして、平時より訓練や啓発活動に取り組む方々です。

問 18 鶴見区では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区防災計画」(鶴見区ホームページに掲載)について作成しています。

あなたは、「鶴見区防災計画」などの取組みを知っていますか。(1つ選んでください)

- 1 内容、取組みを知っている
- 2 見たことはあるが、内容、取組みは知らない
- 3 知らない



こちらから
確認できます

問 19 あなたは、鶴見区で実施している取組み (区民の防災意識の向上や地域防災力の

強化に向けた支援など）が、今後の災害に対する備えにつながっていると感じますか。
（１つ選んでください）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 感じる | 2 どちらかといえば感じる |
| 3 どちらかといえば感じない | 4 感じない |

6. 安全で住みやすいまちづくりについて

問 20 鶴見区では、さまざまな防犯事業(※)に取り組んでいます。

あなたは、鶴見区が実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。（１つ選んでください）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 感じる | 2 どちらかといえば感じる |
| 3 どちらかといえば感じない | 4 感じない |

※鶴見区が実施している防犯事業

- ・自転車ひたくり防止カバーキャンペーン ・防犯カメラの設置・街路防犯灯の助成
- ・毎月 26 日の自転車盗難防止啓発のための 2 重（ツ）ロックキャンペーン
- ・青色防犯パトロール車による巡回 ・小学生の下校時にあわせた鶴見区防犯の日一斉行動

問 21 鶴見区では、地域・関係機関と連携して交通安全対策事業（※）を行っています。

あなたは、鶴見区が実施している交通安全対策事業が、区の交通マナー向上につながっていると感じますか。（１つ選んでください）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 感じる | 2 どちらかといえば感じる |
| 3 どちらかといえば感じない | 4 感じない |

※鶴見区が実施している交通安全対策事業

- ・警察や学校と協働した交通安全教室などの交通マナーを高める取組み
- ・Osaka Metro「今福鶴見」駅・JR「放出」駅周辺での放置自転車追放のためのキャンペーン

問 22 あなたは、道路交通法の改正により、令和 5 年 4 月 1 日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されたことを知っていますか。（１つ選んでください）

- | |
|------------------------|
| 1 知っており、ヘルメットを着用している |
| 2 知っているが、ヘルメットを着用していない |
| 3 知らない |

問 23 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。（１つ選んでください）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 感じる | 2 どちらかといえば感じる |
| 3 どちらかといえば感じない | 4 感じない |

7. 地域活動協議会（地活協）について

問 24 お住まいの地域には、地域におけるさまざまな課題を解決するため、「地域活動協議会（地活協）」が活動しています。

あなたは、これまで地活協の行事（活動）（※）に参加したことがありますか。
（1つ選んでください）

- 1 参加したことがある（⇒問 26 へ）
- 2 参加したことがない（⇒問 25 へ）

※地域活動協議会(地活協)が実施している主な行事（活動）

防災訓練、青色防犯パトロール、子ども見守り隊活動、防犯一斉行動、歳末夜警、運動会、もちつき大会、ふれあい喫茶、子育てサロン、高齢者食事サービス、盆踊り・夏祭り、百歳体操、ペットボトル回収等

問 25 は、問 24 で「2 参加したことがない」と回答された方のみお答えください。

問 25 **その理由は何ですか？（いくつでも選んでください）**

- 1 時間がないから
- 2 参加したい魅力的な行事（活動）がないから
- 3 やっていることを知らなかったから
- 4 その他（ ）

8. 鶴見区全般について

問 26 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、**取り組んだらよいと思うアイデア等**がありましたら、ご記入ください。

9. あなたご自身について

問 27 あなたの性別をお答えください。(1つ選んでください)

- 1 男性 2 女性 3 その他

問 28 あなたの年齢をお答えください。(1つ選んでください)

- 1 30歳未満 2 30～39歳 3 40～49歳
4 50～59歳 5 60～69歳 6 70歳以上

問 29 あなたのお住まいの地域をお答えください。(1つ選んでください)

- 1 緑地域(みどり小学校区、新森小路小学校区)
2 鶴見北地域(鶴見小学校区) 3 鶴見地域(鶴見南小学校区)
4 榎本地域(榎本小学校区) 5 今津地域(今津小学校区)
6 茨田南地域(茨田南小学校区) 7 茨田地域(茨田小学校区)
8 茨田東地域(茨田東小学校区) 9 茨田北地域(茨田北小学校区)
10 焼野地域(焼野小学校区) 11 茨田西地域(茨田西小学校区)
12 横堤地域(横堤小学校区) 13 わからない

問 30 あなたは、鶴見区にお住まいになって何年ですか。(1つ選んでください)

- 1 1年未満 2 1年以上5年未満
3 5年以上10年未満 4 10年以上

————— ご協力ありがとうございました —————



お手数をおかけしますが、**令和5年12月22日(金)**までに

この用紙を同封の返送用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

